

平成29年6月期 決算補足説明資料

株式会社ブレインパッド
2017年8月9日

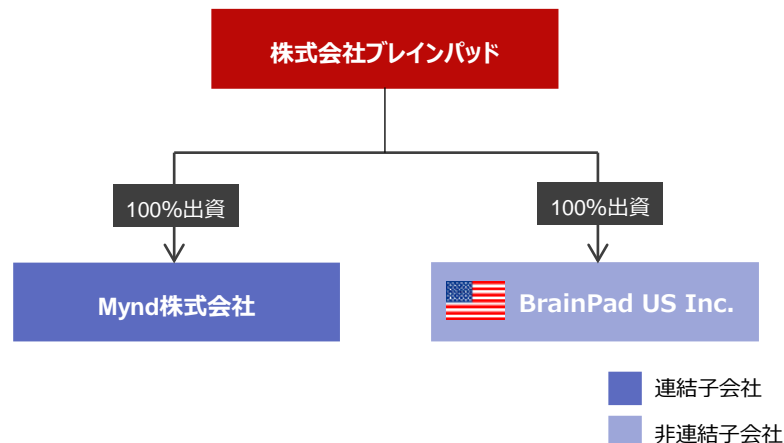
INDEX

- 会社概要 … P 2
- 平成29年6月期 連結業績ハイライト … P 7
- 平成29年6月期 単体業績/単体セグメント業績ハイライト … P 14
- 中期経営計画「OneBrainPad」の進捗状況 … P 28
- APPENDIX … P 42

会社概要

商号	株式会社ブレインパッド (英文 BrainPad Inc.)	
所在地	東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル	
電話番号	03-6721-7001 (代表)	
設立	平成16年3月18日	
上場市場	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード: 3655)	
資本金	332百万円 (平成29年6月30日現在)	
従業員数	219名 (連結、平成29年6月30日現在)	
役員	代表取締役会長	草野 隆史
	代表取締役社長	佐藤 清之輔
	取締役	安田 誠
	取締役	石川 耕
	取締役	塩澤 洋一郎
	社外取締役	福岡 裕高
	社外取締役	漆原 茂
	社外取締役	近藤 智義
	常勤社外監査役	鈴木 晴夫
	監査役	加藤 啓一
	社外監査役	山口 勝之
	社外監査役	佐野 哲哉

グループ体制



上場市場 / 受賞歴 / 認証



平成25年7月25日
東証一部上場



JIS Q 15001
認証番号: 10822646



Technology Fast 50
2016 JAPAN
Deloitte.



認証・制度
ISO(JIS Q) 27001

テクノロジー企業成長率ランキング
「日本テクノロジーFast50」9年連続受賞

認証の登録範囲は、Webレコメンデーションならびに
広告配信技術、データ分析技術を利用した
SaaS サービスです。

主なクライアント

これまでに当社との取引実績があり企業名等の公表を許可いただいている、または、プレスリリースやメディア掲載等で取引実績のあることが公知となっている顧客を抜粋したものです。

(平成29年8月9日現在、敬称略、順不同)

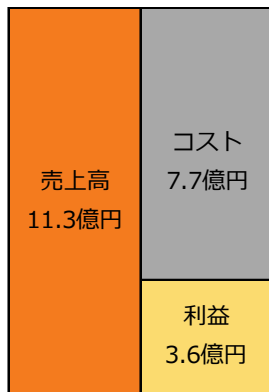
情報・通信	グーグル合同会社、ヤフー(株)、楽天(株)、(株)アイスタイル、エアロセンス(株)、(株)大塚商会、トレンドマイクロ(株)、CCCマーケティング(株)、(株)インタースペース、(株)クラウドワークス
電気機器	キヤノン(株)
化学	ライオン(株)、(株)キナリ、コーセープロビジョン(株)、(株)ファンケル
医療・製薬	バイエル薬品(株)、メディカル・データ・ビジョン(株)
小売・流通	(株)ローソン、(株)高島屋、(株)ゴルフダイジェスト・オンライン、アスクル(株)、(株)TSUTAYA、(株)ゲオ、(株)ディノス・セシール、(株)オークローンマーケティング、(株)ワコール、(株)ピーチ・ジョン、ウォーターフォード・ウェッジウッド・ジャパン(株)、オーマイグラス(株)、(株)クオカプランニング
食料品・飲食	(株)すかいらーく、味の素(株)、キューピー(株)、UCCホールディングス(株)、シダックス(株)
銀行・証券・カード	SMBC日興証券(株)、大和証券(株)、みずほ証券(株)、(株)新生銀行、三井住友信託銀行(株)、(株)横浜銀行、(株)伊予銀行、(株)ジェシービー、ポケットカード(株)
教育・人材・コンサルティング	パーソルキャリア(株)、(株)日経HR、学校法人河合塾
空輸・旅行・ホテル	日本航空(株)、全日本空輸(株)、(株)i.JTB、(株)日本旅行、ヒルトン・ワールドワイド
建設・住宅	八千代エンジニアリング(株)、積水ハウス(株)、ミサワホーム(株)、野村不動産アーバンネット(株)
メディア・広告・エンタテインメント	NIKKEI STYLE、(株)セガホールディングス、(株)フジテレビジョン、(株)朝日新聞社、(株)読売新聞東京本社、(株)小学館、(株)ダイヤモンド社、(株)日本ビジネスプレス、東洋経済オンライン、プレジデントオンライン、(株)博報堂プロダクツ
その他サービス	(株)さとふる

アナリティクス事業

データサイエンティストという専門人材によるデータ解析/コンサルテーションや、データ解析ロジックを組み込んだシステム実装を、業務受託型で行う事業です。

収益構造 (グラフ内の数字は平成29年6月期連結実績)

- 顧客の経営課題に合わせてプロジェクト単位で受注
- 主力はフロー型売上高だが、システム化案件にも注力し、それによるストック型売上高も増加してきている
- プロジェクト期間は、数か月～数年まで様々、プロジェクト体制も、数名～10名近くまで様々



- 売上原価の大部分は社員人件費
- その他は、サーバー代や、ソフトウェア利用料等
- セグメント利益率31.8%

特徴、強み

- 業界随一の規模を誇るデータサイエンティスト組織
- 特定業種に特化せず、幅広い業種に対する支援実績
- AIなどの先進技術や、統計科学・数理工学などを、実際のビジネスへ適用できるノウハウ
- 業界でもいち早く新卒採用を開始し、毎年10名前後の新卒を育成し続けることのできる組織力

代表的なサービス

マーケティングアナリティクス



- 分析による顧客構造理解
- 顧客育成のための戦略立案
- リソース(時間・コスト)の最適配分
- マーケティングシステム構築
- 施策の効果測定

(ほか)

機械学習やAIを用いた業務プロセスの最適化



- サプライチェーンの最適化(配送・配車, 人員配置, 需要予測等)
- 製造プロセスの最適化(不良品検出, 歩留まり改善等)
- 不正取引の検知
- AIを活用したロジック開発
- 深層学習を用いた画像解析 (ほか)

データ活用人材の育成、組織・体制の整備



- データ活用組織・体制の整備や立ち上げ
- データ活用人材やデータサイエンティストの育成メソッドを組み合わせたカスタマイズプログラムの提供

(ほか)

ソリューション事業

企業がCRMや、自動マーケティング(MA)を実施する場合に必要な海外製システムや、機械学習による予測システムのライセンス販売と、ビッグデータ分析環境の構築を行う事業です。

収益構造 (グラフ内の数字は平成29年6月期連結実績)

- 月額利用料や保守料からなるストック型売上高と、一括計上型のライセンス売上や開発売上からなるフロー型売上高の比率は約半々
- 大型のライセンス販売や開発案件の受注があると、一気にフロー型売上高が増加



- 売上原価の大部分はライセンスの仕入高、受託開発に要した外注費等
- 開発作業等には外注を利用し、利益率をコントロール

セグメント利益率12.8%

特徴、強み

- ベンダーフリーの立場で、顧客ニーズに合わせた柔軟なシステム選定が可能
- 独自性の強い海外ツールを目利き・選定。日本国内では当社のみが取り扱っているツールも多数
- 過去の豊富な実績をふまえ、データ利活用のために最適な分析環境やツールの提案が可能

代表的な取扱製品

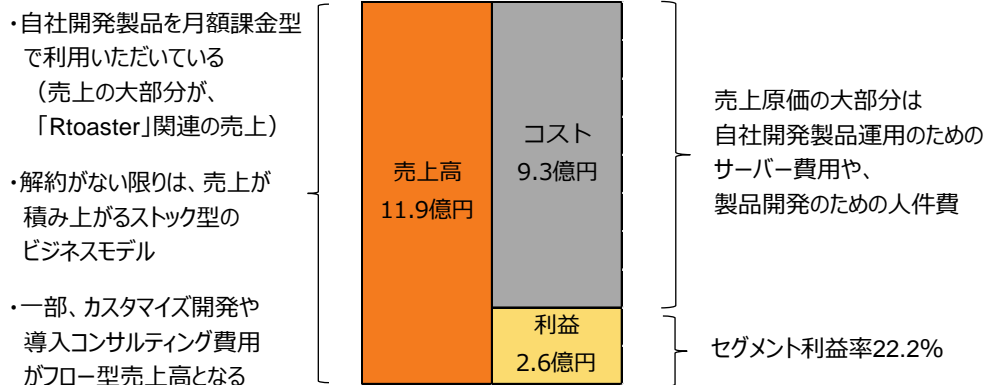
<p>マーケティングオートメーションプラットフォーム</p> <p>Probance 機械学習により顧客ニーズを予測し、パーソナライズコミュニケーションを実現するMAプラットフォーム</p>	<p>ソーシャルリスニング・プラットフォーム</p> <p>Crimson Hexagon ForSight™ Platform ソーシャルメディアから、世界中の顧客エンゲージメントを分析</p>	<p>ダイナミックセグメンテーションシステム</p> <p>exQuick データやファイルを統合的に管理し、データ抽出やレポート作成を得意とするシステム</p>	<p>ビジネス・インテリジェンスツール</p> <p>Tableau データをビジュアル化し、データの持つメッセージを伝えることが可能</p>	<p>ビッグデータ対応 機械学習・予測分析システム</p> <p>SAP® BusinessObjects™ Predictive Analytics データマイニング・機械学習のプロセスを自動化し、圧倒的な効率性を実現</p>	<p>統計解析・ビッグデータ加工システム</p> <p>WPS Software SAS言語で記述されたプログラム実行とデータ操作が可能</p>	<p>クラウドプラットフォーム</p> <p>Microsoft Azure</p> <p>Microsoft Azure ビッグデータ活用に必要な一連の機能をクラウド上で提供</p>	<p>ロボティック・プロセス・オートメーション</p> <p>ブレインロボ 人が行う業務を自動化・効率化するロボティック・プロセス・オートメーション</p>
--	---	--	--	---	---	---	---

■ 自社開発製品 ■ 当社が国内唯一の販売代理店である製品 ■ その他

マーケティングプラットフォーム事業

デジタルマーケティング領域において、自社開発のレコメンドアルゴリズムや自然言語処理機能などを搭載した独自性の強い製品を自社開発し、SaaS形式で顧客へ提供している事業です。

収益構造（グラフ内の数字は平成29年6月期連結実績）

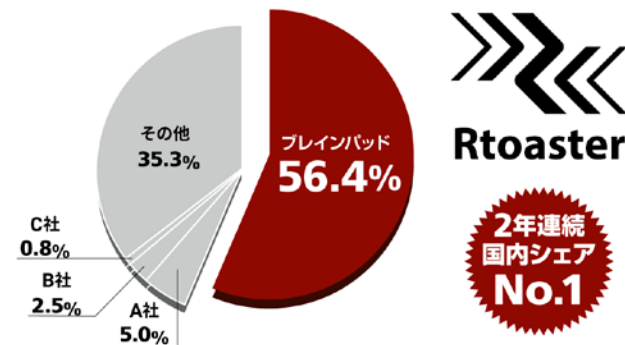


特徴、強み

- ・DMP市場のシェアNo.1製品である「Rtoaster」を開発・提供（トラッキング数30億、アイテム数2億点）
- ・分析会社ならではの高精度な自社開発アルゴリズムを製品化
- ・他社製品とはベンダーフリーに連携可能であり、プライベートDMPである「Rtoaster」を中心に据えたデジタルマーケティングの実行が可能

代表的な取扱製品（全て自社開発）

レコメンドエンジン搭載 プライベートDMP	運用型広告 最適化ツール	データマネジメントツール	自然言語処理エンジン
<p>Rtoaster</p> <p>多彩なマーケティングアクションをデータから実現できる、DMP市場のNo.1製品</p>	<p>L2Mixer</p> <p>最先端の予測モデルと最適化計算による自動入札で、シンプルな広告運用を支援</p>	<p>DeltaCube</p> <p>DMPに蓄積された膨大なデータから、セグメントを導き出せるツール</p>	<p>Mynd plus</p> <p>人工知能・機械学習・統計学技術を駆使してテキストデータを解析</p>



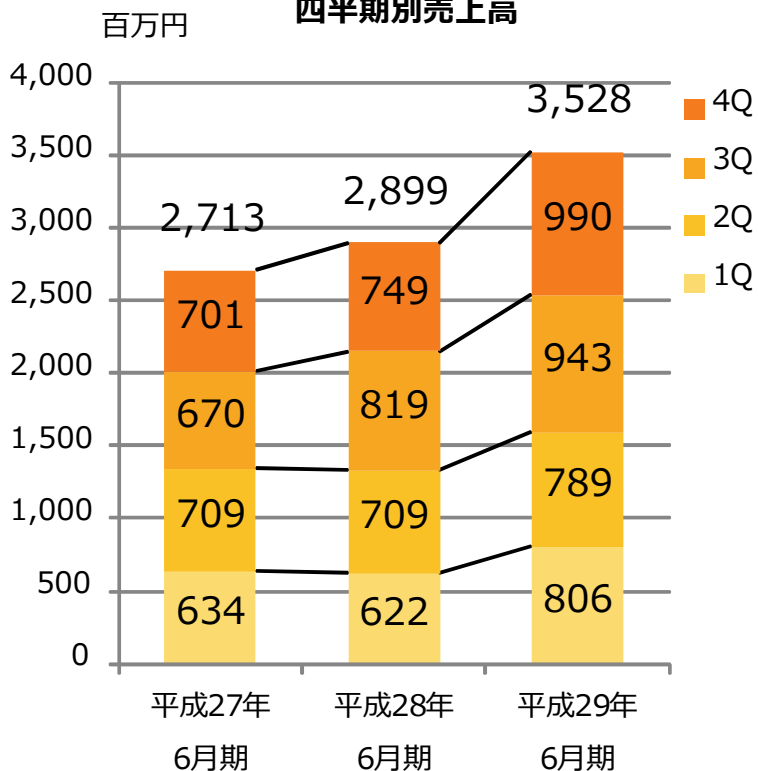
プライベートDMP市場：ベンダー別売上金額シェア【2015年度実績】
出展：ITR「ITR Market View：マーケティング管理市場 2017」
※2年連続とは、2014年度・2015年度実績

平成29年6月期 連結業績ハイライト

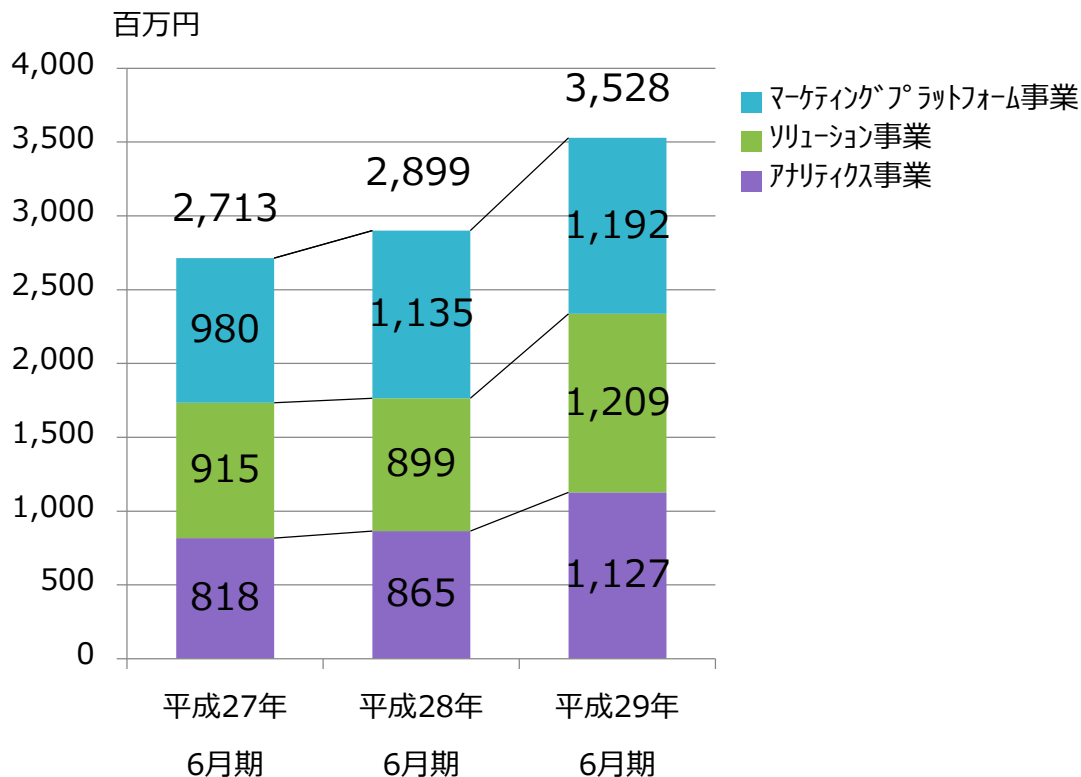
3期比較（連結売上高：四半期別/セグメント別）

3Q・4Qと連続して、四半期あたり9億円超の連結売上高を記録。
 通期の連結売上高は、前期比21.7%増の高成長となり、
 3事業ともに増収、かつ、3事業揃って11億円超の売上高を達成。
 今期初よりプロジェクトが開始された3事業横断型の大型案件も、売上伸長に寄与。

四半期別売上高

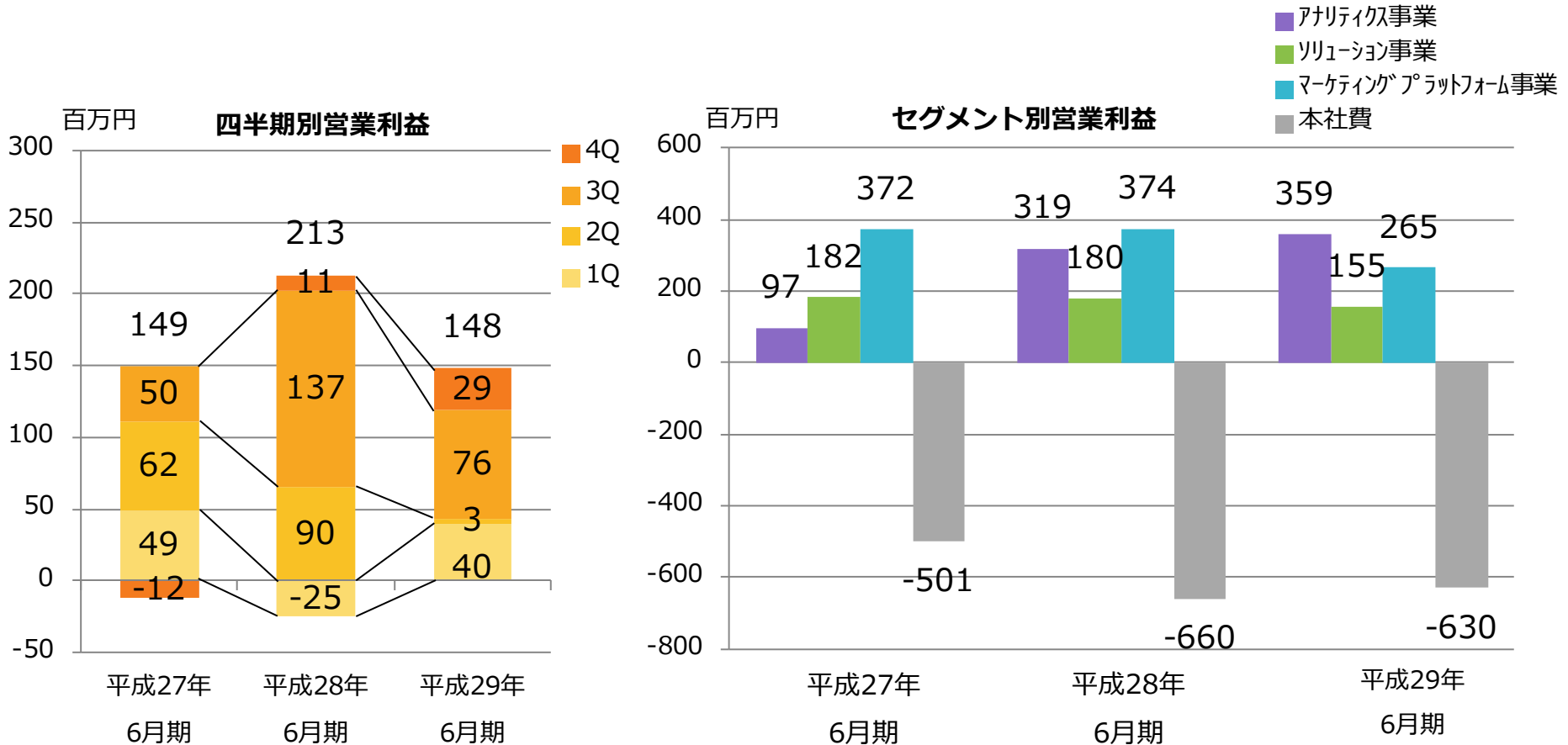


セグメント別売上高



3期比較（連結営業利益：四半期別/セグメント別）

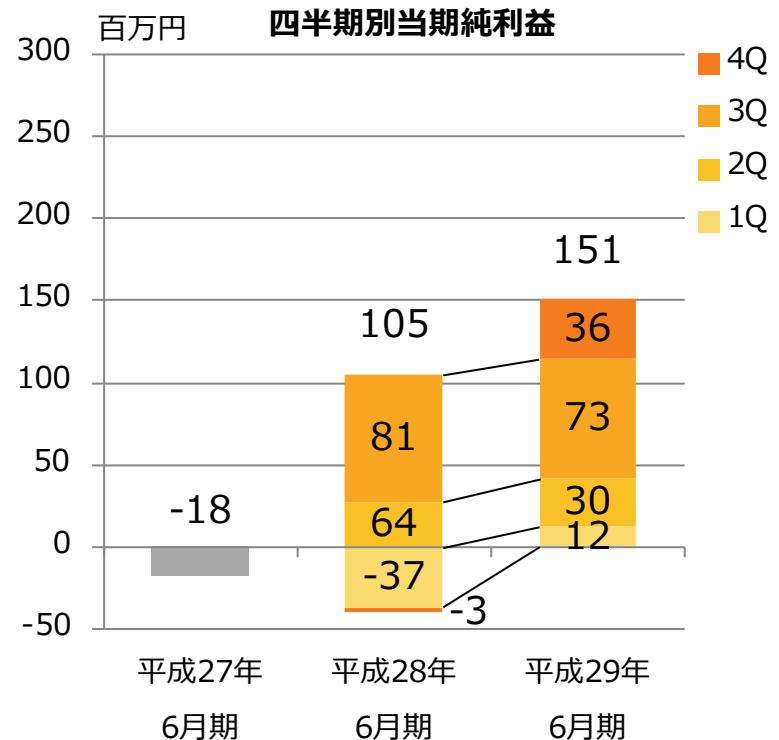
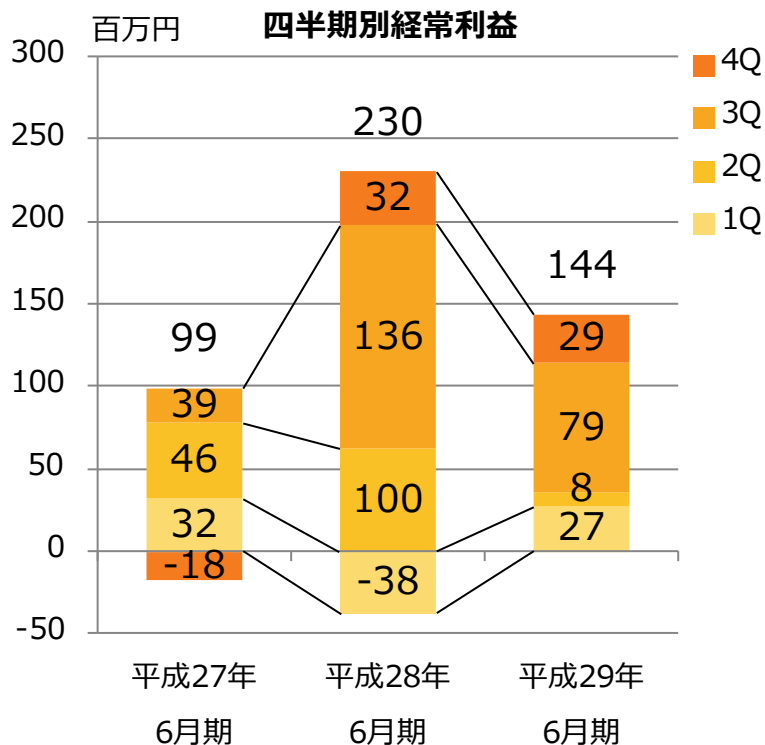
連結営業利益は、全社的な人材採用による人件費および人材採用費の増加、組織拡大を見据えたオフィス増床によるコスト増により、148百万円（前年同期比△30.5%、ほぼ本年1月の修正業績予想どおり）に留まった。



3期比較（連結経常利益、当期純利益：四半期別）

連結経常利益は、営業利益と同じ理由により、
144百万円（前年同期比△37.6%）に留まる。

一方、連結当期純利益は、過年度に計上した関係会社株式評価損が税務上損金算入されたこと等から税金費用が減少し、151百万円（前年同期比+43.0%）となった。



連結損益の状況

(単位：百万円)

	平成28年 6月期	平成29年 6月期	増減額	増減率
売上高	2,899	3,528	629	21.7%
売上原価	1,647	2,107	459	27.9%
売上総利益	1,252	1,421	169	13.5%
販管費	1,039	1,273	234	22.6%
営業利益	213	148	-65	-30.5%
営業外収益	20	9	-12	-56.5%
営業外費用	3	13	10	289.7%
経常利益	230	144	-86	-37.6%
特別利益	3	30	27	927.5%
特別損失	42	2	-40	-94.6%
税金等調整前当期純利益	191	171	-20	-10.2%
法人税等合計	85	21	-65	-75.9%
当期純利益	106	151	45	42.8%
非支配株主利益	0	0	0	-92.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	105	151	45	43.0%

人材採用の積極化による人件費の増加、クラウドサービス利用料の増加によるコスト増により、売上高の増加ペースを上回り、売上原価が増加

営業やマーケティング領域の人材採用が進んだことによる人件費・人材採用費の増加に加え、オフィス増床によるコスト増により、販管費は大きく増加

持分法による投資損益
前期 + 8.9百万円
今期 ▲11.5百万円
※持分法適用関連会社の清算終了により、来期以降は当該損失は発生しない

過年度に計上した関係会社株式評価損が税務上損金算入されたことから税金費用が減少

連結財政状況

(単位：百万円)

	平成28年 6月期末	平成29年 6月期末	増減額	増減率	主な増減要因	
資産	1,833	1,899	65	3.6%		
流動資産	1,203	1,331	128	10.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・現金及び預金 +114 ・未収還付法人税等 +43 ・繰延税金資産 ▲14 ・仕掛品 ▲8 	
固定資産	630	568	-63	-9.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産（オフィス増床等） +23 ・無形固定資産（ソフトウェアの減少等） ▲103 ・投資その他の資産 +17 	
負債	581	497	-85	-14.6%		
流動負債	491	421	-70	-14.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・前受収益 +40 ・未払費用 +9 ・未払法人税等 ▲88 ・未払金 ▲45 	
固定負債	90	76	-14	-16.0%		
純資産	1,252	1,402	150	12.0%	・利益剰余金	+151
自己資本比率	68.0%	73.6%				

連結キャッシュ・フローの状況

営業CFは、前期に比べ、法人税等の支払額が大きかったこと等により、284百万円に留まる。その一方で、ソフトウェア開発による無形固定資産の取得や、借入金の返済額が減少した結果、現金および現金同等物は、703百万円（前期末比+114百万円）に増加した。

(単位：百万円)

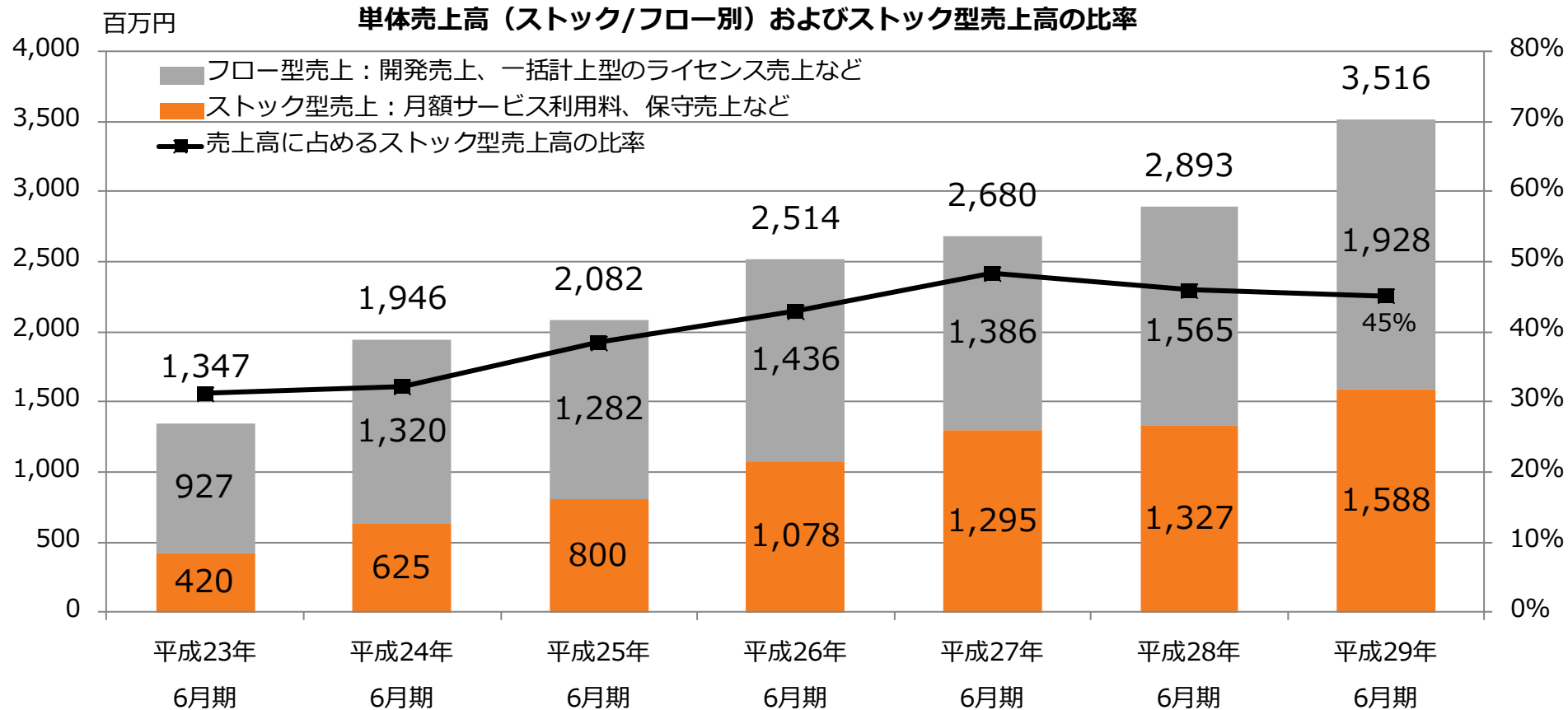
	平成28年 6月期	平成29年 6月期	平成29年6月期の主な内訳
営業CF	429	284	<ul style="list-style-type: none"> ・ 減価償却費 + 224 ・ 税金等調整前当期純利益 + 171 ・ 前受収益の増減額 + 40 ・ 法人税等の支払額 ▲135
投資CF	-208	-142	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無形固定資産の取得 ▲103 ・ 有形固定資産の取得 ▲50 ・ 敷金及び保証金の差入 ▲45 ・ 関係会社の整理による収入 + 30
財務CF	-323	-28	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期借入金の返済 ▲30
現金および現金同等物の増減	-104	114	
現金および現金同等物の残高	589	703	

平成29年6月期

単体業績/単体セグメント業績ハイライト

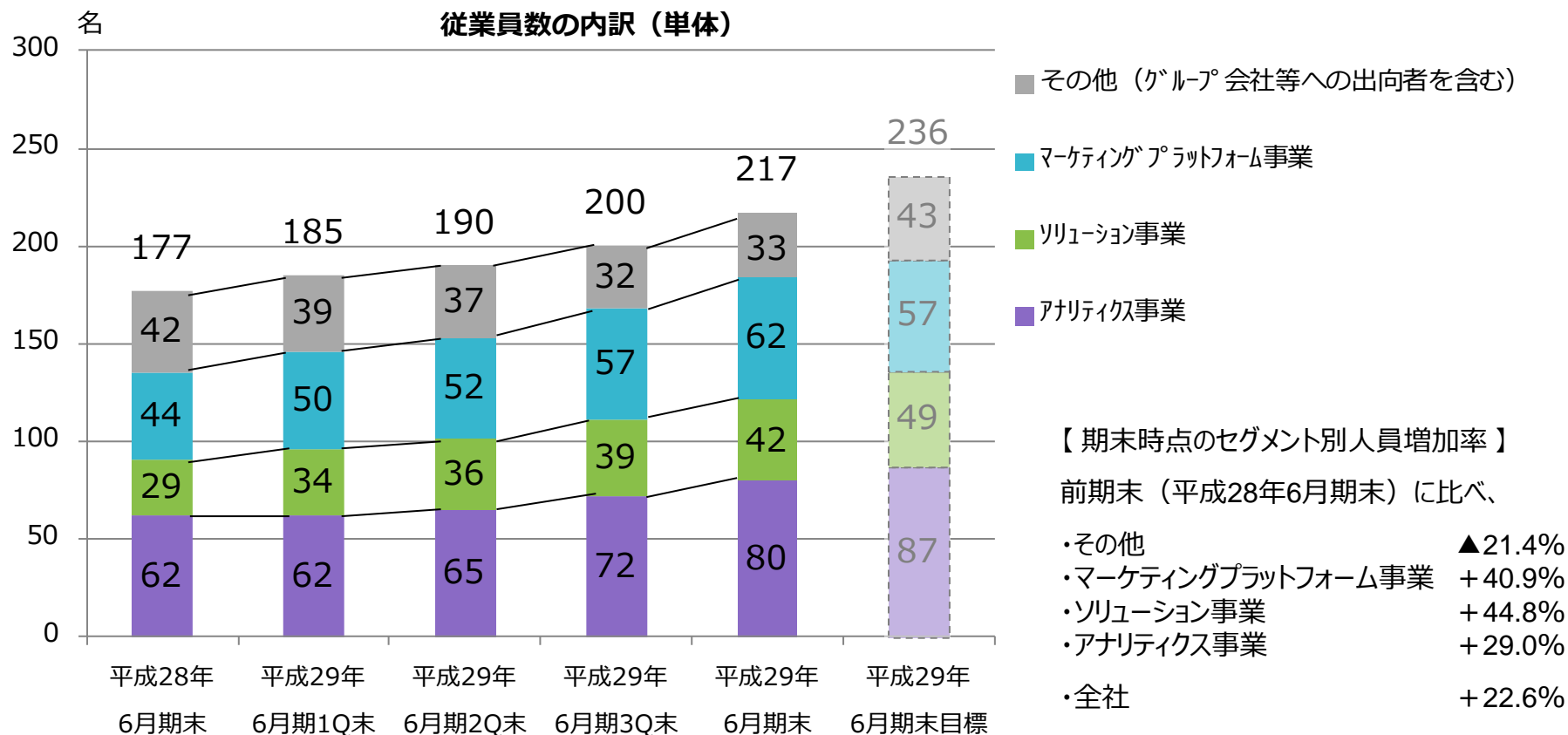
ストック型売上高の推移（単体）

中期経営計画達成の上で重要指標としているストック型売上高は、今期売上高の45%。3事業横断型の大型案件における受託開発売上など、当期の売上伸長への寄与は、フロー型売上高によるものが大きく、来期以降の計画にも影響（P30以降の説明を参照）。



従業員数の内訳（単体）

積極的な人材採用により人員数は順調に増加し、当期末の従業員数は前期末比+40名。特に、ソリューション事業とマーケティングプラットフォーム事業の増員率が高い。期初目標の236名には届かず、来期以降も人材投資を継続する（P32以降の説明を参照）。



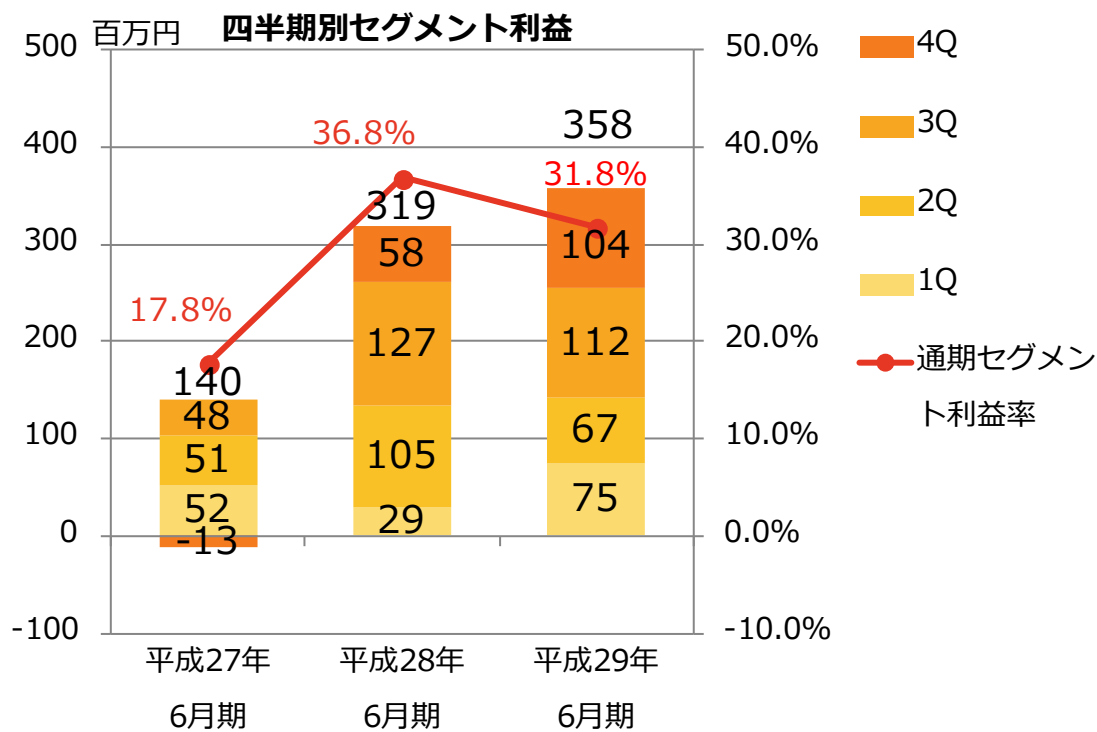
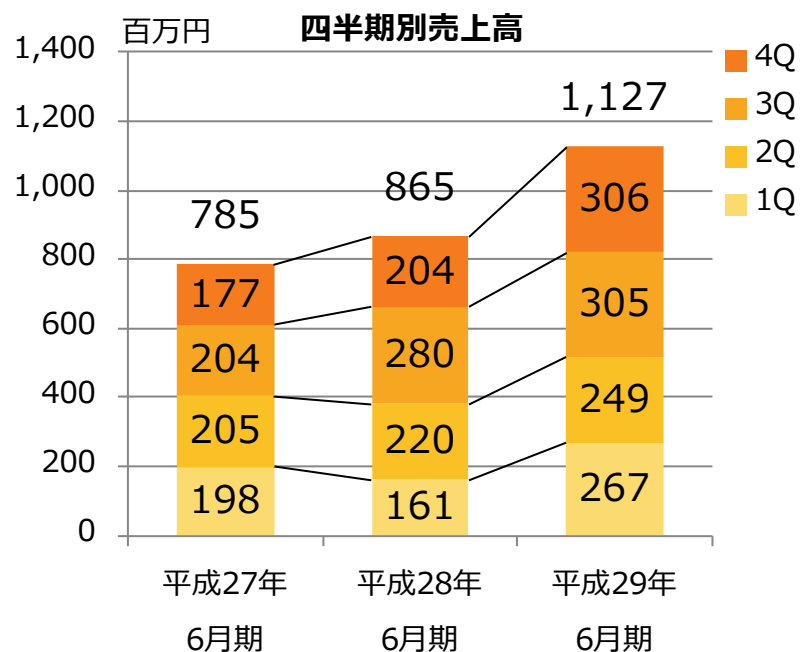
アナリティクス事業（単体）3期比較

3Q・4Qと連続して3億円超の売上高を記録。

セグメント利益額は、前年同期比+12.5%となった一方、

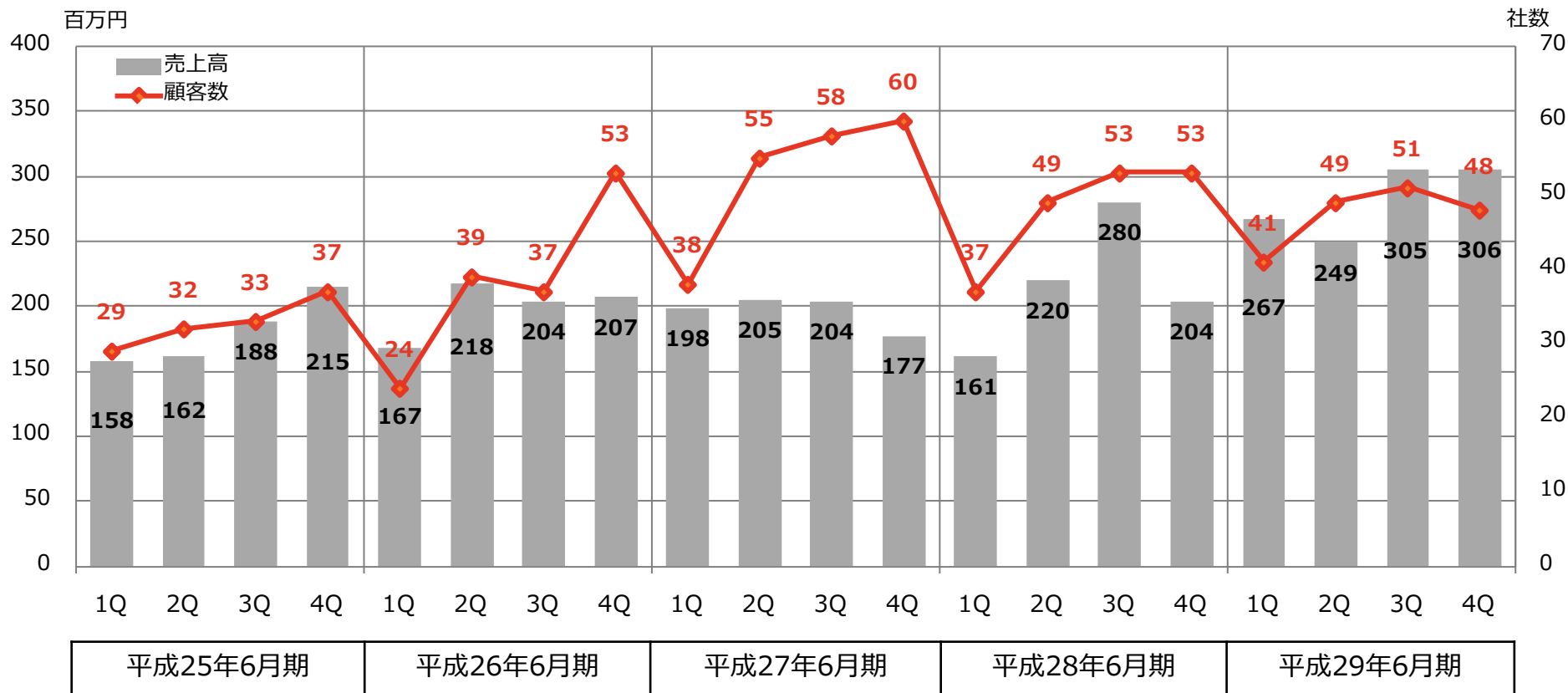
利益率は、人材採用・人材育成のための投資の発生により、前期に比べ低下している。

※ 当事業の従業員数の増加：前期末 62名 → 当期末 80名（+29.0%）



アナリティクス事業（単体）売上一顧客数推移

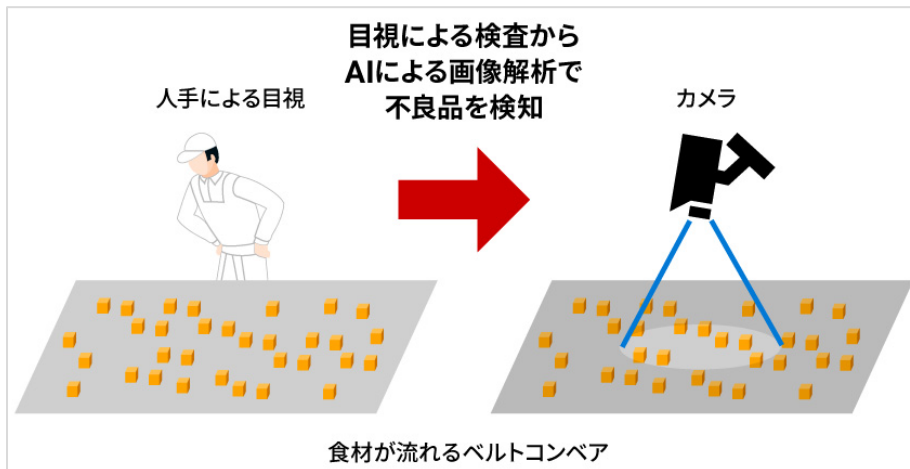
当期の2Q以降、四半期あたり50件前後の案件をこなしながら、売上高は順調に増加。案件の大型化が実現してきている。



アナリティクス事業 当期に発表した導入事例など

他社に先駆けて発表した、ビジネスへのAI活用の実例

AIによる不良品検知で、一段階上の「食の安心」を支援 (キューピー株式会社の事例)



- 従来、スタッフが目視にて、原料由来の不良品を取り除いていた作業工程を、ブレインパッドがAIで自動化。
- 深層学習による画像解析技術を使い、AIが高い精度で不良品を発見。
- これにより、AIが不良品を大まかに取り除き、漏れたものを熟練スタッフが取り除くという合わせ技で、AIとヒトの力が合わさった、一段階上の「食の安心」を実現。

河川の護岸コンクリートの劣化を、AIで検知 (八千代エンジニアリング株式会社の事例)



- 日本の高度経済成長期に整備された道路や橋などのインフラは、その経年劣化が課題。
- 従来は、熟練者の目視主体で劣化状況を把握することが多く、長い河川区間が対象となると、その点検コストは増大。
- ブレインパッドは、護岸コンクリートを撮影した画像から、ひび割れの有無などを判別するAIを開発。現状のヒトによる検査と遜色ない精度で、劣化を検知できることを実証。

アナリティクス事業 当期に発表した導入事例など

他社に先駆けて発表した、ビジネスへのAI活用の実例

ブレインパッドのAI技術が、 Google の日米イベントに採用



- Google™ からの委託を受け、機械学習とロボットアームによるデモンストレーションシステム開発。
- 自分の好みを話しかけるだけで、AIが発話内容を理解し、好みに合ったお菓子をロボットアームが取り出して、オススメしてくれるというもの。
- Google が主催する日米イベントにて展示。

ドローンによる空撮画像から、自動車台数を正確にカウント (エアロセンス株式会社の事例)



- ドローンによる空撮測量サービスを行うエアロセンス社に対し、深層学習を活用して空撮画像の処理精度をさらに高め、物体把握を正確に行うことに成功。
- 空撮画像では判別しづらい自動車とコンテナなどを正確に見分け、自動車台数を正しくカウントできることを実証。
- この技術は、例えば、資材の自動管理や施設の自動監視などの、高精度・低コストな運用に応用できる。

機械学習×ロボットアーム「Find Your Candy」

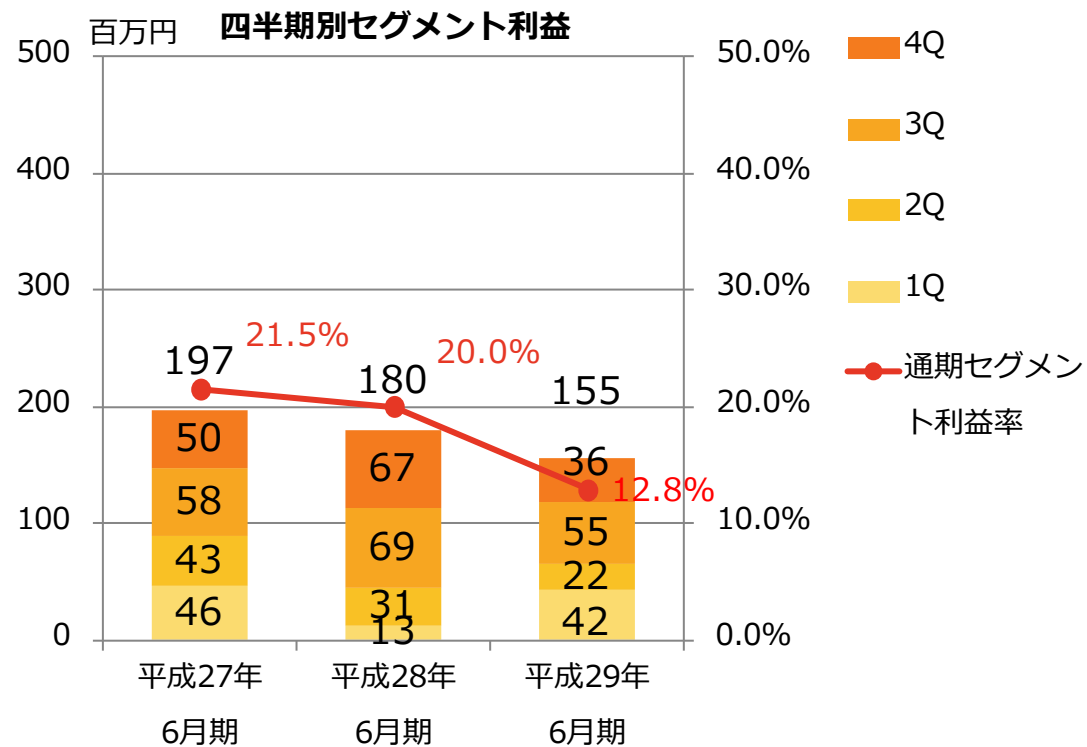
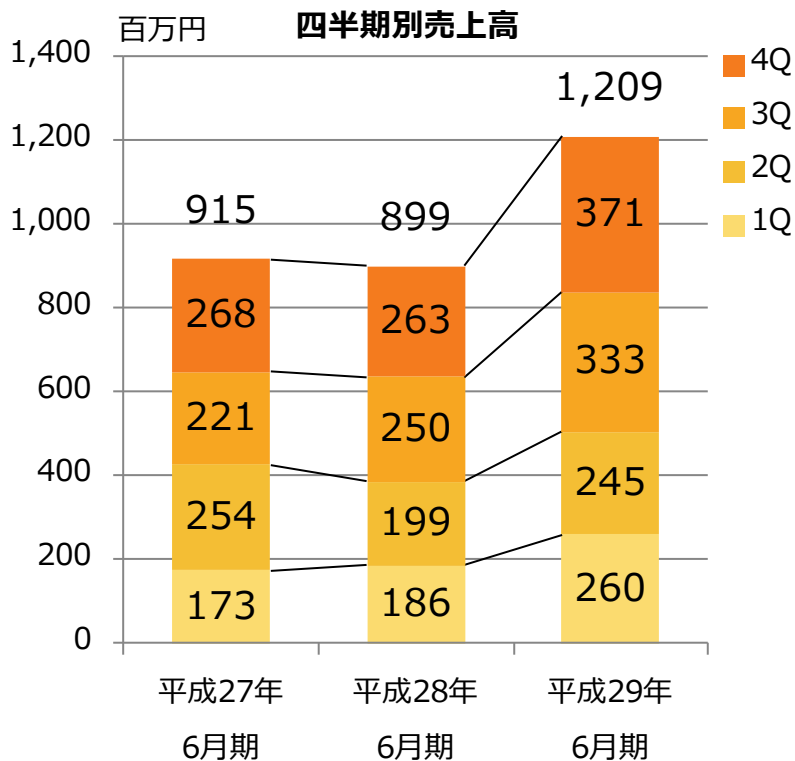
<https://www.youtube.com/watch?v=-oaleXJxn7Q&feature=youtu.be>



ソリューション事業（単体）3期比較

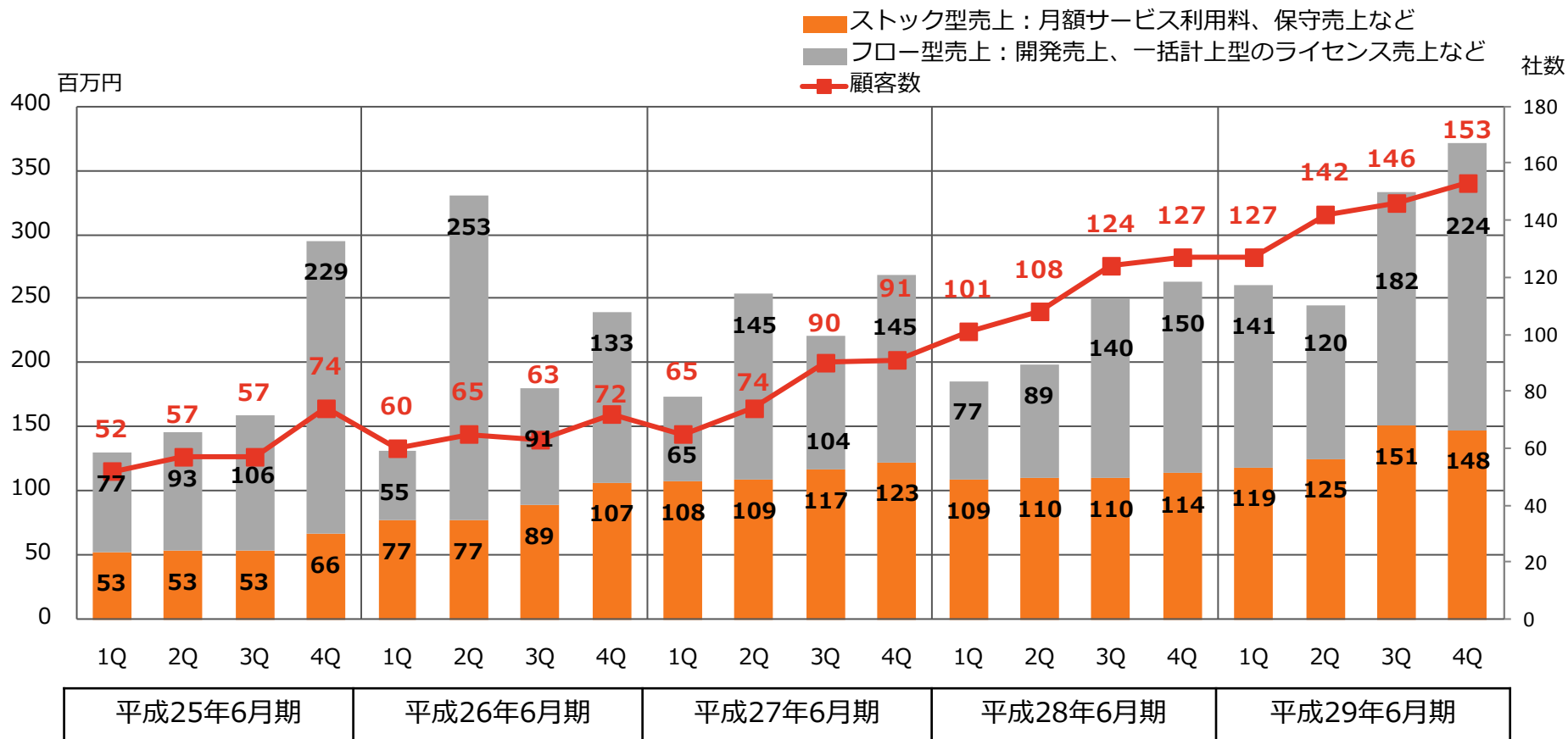
今期初から開始した3事業横断型の大型案件において、当事業による受託開発売上や、ソフトウェア売上の計上が進んだことなどにより、売上高は大きく伸長。
一方、3事業の中で最も積極的に人材採用を進めたため、利益額・利益率ともに低下。

※ 当事業の従業員数の増加：前期末 29名 → 当期末 42名（+44.8%）



ソリューション事業（単体）売上一顧客数推移

前述の大型案件における受託開発売上により、フロー型売上高の増加が、売上伸長を牽引。ストック型売上高は、一部大型案件の契約終了により、4Qで減少した。



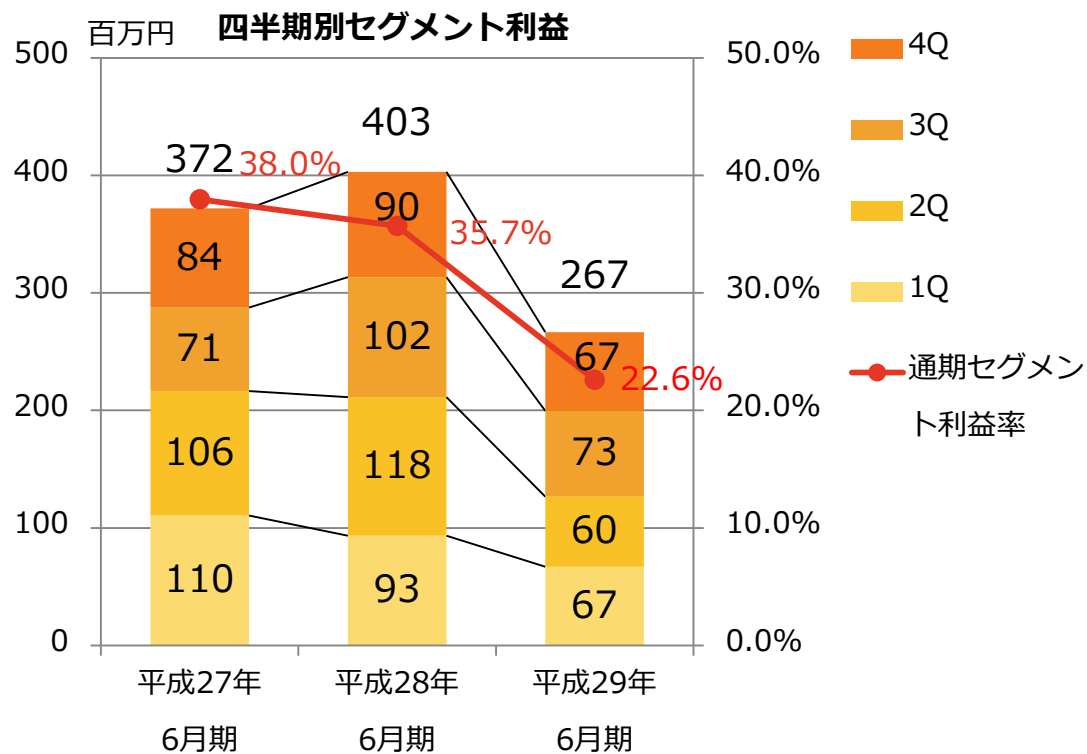
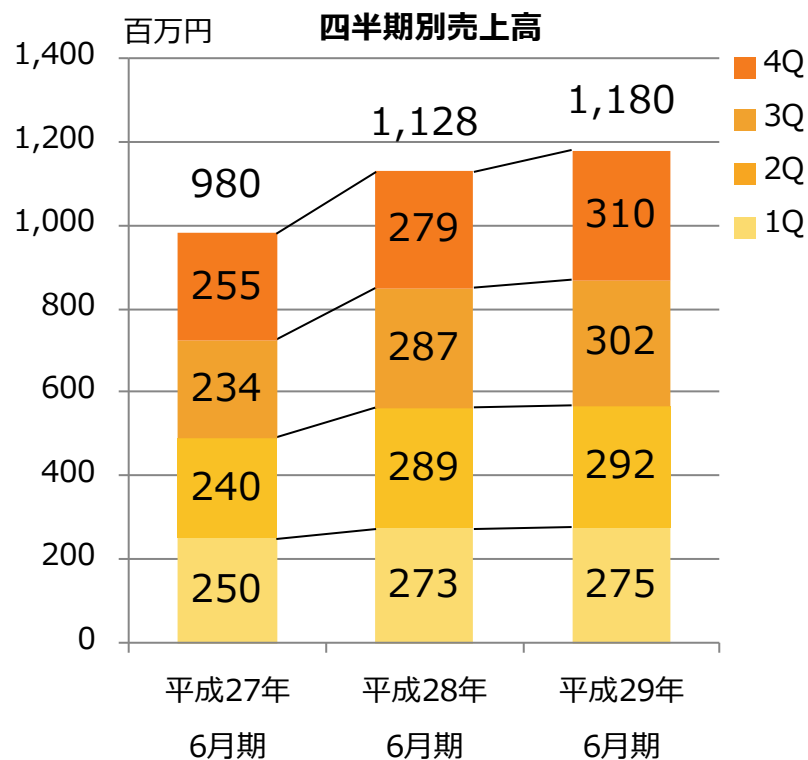
ソリューション事業 当期に発表した導入実績の一例

<p>マーケティングオートメーション プラットフォーム</p>  <p>(プロバンス)</p>	<p>株式会社TSUTAYA</p> 	<p>株式会社高島屋</p>  <p>など</p>
<p>ビッグデータ対応 機械学習・予測分析システム</p>  <p>(エスエーピー・ビジネスオブジェクト・ プレディクティブ・アナリティクス)</p>	<p>みずほ証券株式会社</p>  <p>みずほ証券</p>	<p>など</p>
<p>ソーシャルリスニング・プラットフォーム</p>  <p>(クリムゾンヘキサゴン・ フォーサイト・プラットフォーム)</p>	<p>株式会社朝日新聞社</p> 	<p>など</p>

マーケティングプラットフォーム事業（単体）3期比較

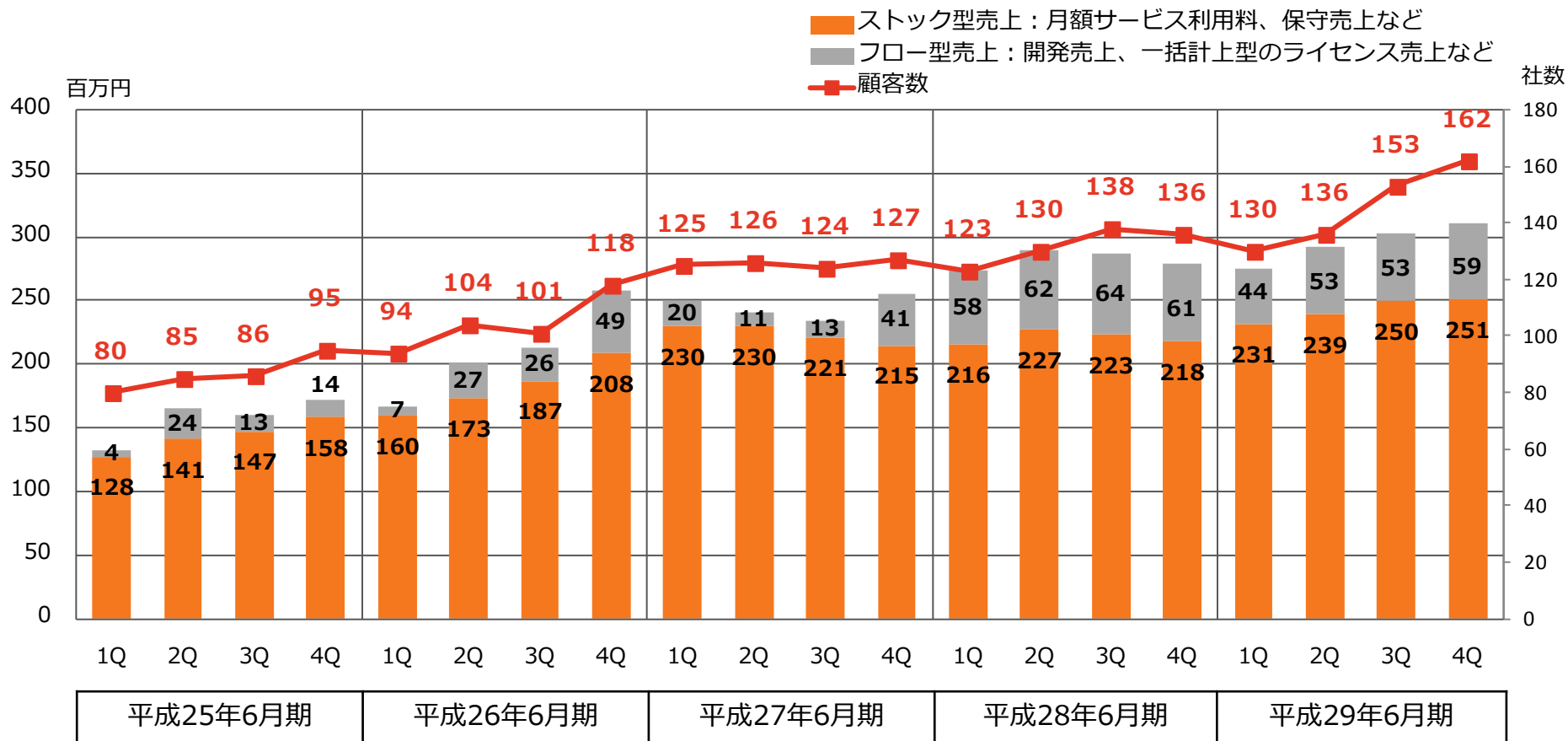
大型案件の規模縮小を新規案件の積み重ねで補い、3Q・4Q連続して売上高3億円超を記録。高利益率であった大型案件の規模縮小により利益額が減少する中、人員採用による組織力向上を優先し、そのうえ新製品開発を行っており、利益額・利益率ともに低下。

※ 当事業の従業員数の増加：前期末 44名 → 当期末 62名（+40.9%）



マーケティングプラットフォーム事業（単体）売上・顧客数推移

新規案件の積み上げにより、1Q以降、ストック型売上高・顧客数ともに増加に転じている。



マーケティングプラットフォーム事業 当期に発表した導入実績の一例

<p>レコメンドエンジン搭載 プライベートDMP</p>  <p>Rtoaster (アールトースター)</p>	<p>株式会社小学館</p>  <p>SHOGAKUKAN</p> <p>ニフティ株式会社</p>  <p>@nifty</p>	<p>株式会社日本旅行</p>  <p>日本旅行 NIPPON TRAVEL AGENCY</p> <p>バイエル薬品株式会社</p>  <p>バイエル</p> <p>など</p>
<p>自然言語処理エンジン</p>  <p>Mynd + plus</p> <p>(マインドプラス)</p>	<p>NIKKEI STYLE</p>  <p>NIKKEI STYLE</p>	<p>株会社日本ビジネスプレス</p>  <p>JB PRESS Japan Business Press Co., Ltd.</p> <p>など</p>

中期経営計画「OneBrainPad」の 進捗状況

全社員の力を結集・融合させて計画を実現したいという思いから、
この中期経営計画を「OneBrainPad」と呼んでおります。

(再掲) 中期経営計画における経営戦略

コーポレートビジョン (中長期的に目指す姿)

Analytics Innovation Company

アナリティクスとエンジニアリングを駆使した
革新的かつ実践的なソリューションで最高の価値を提供する

経営戦略

アナリティクスとエンジニアリングを駆使して
クライアントのビジネスプロセスを革新する長期・大型の案件を拡大する

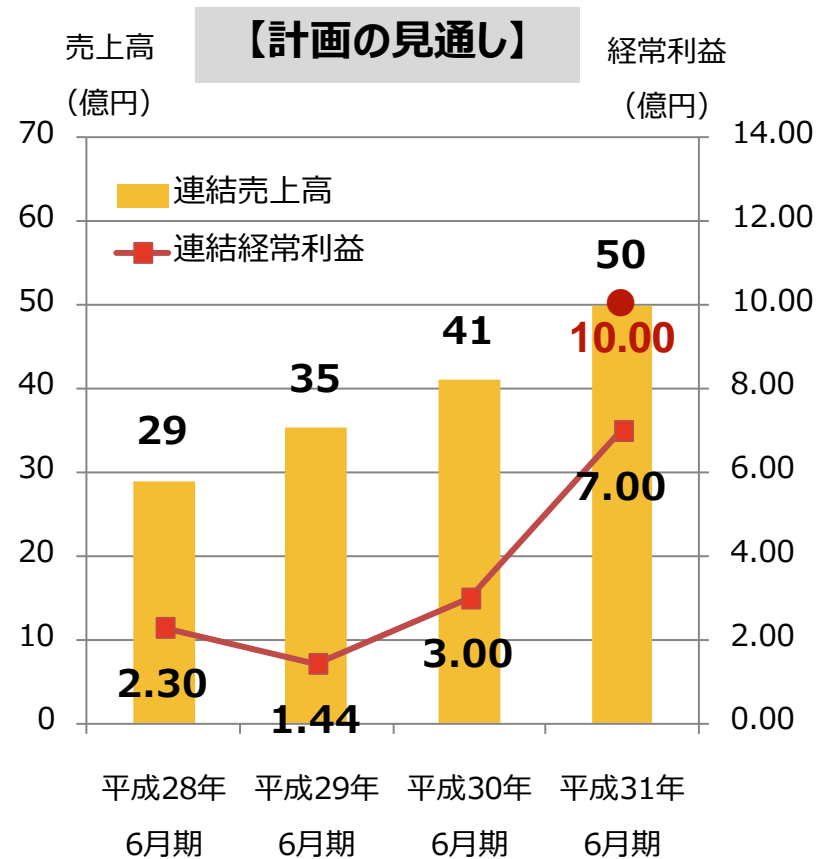
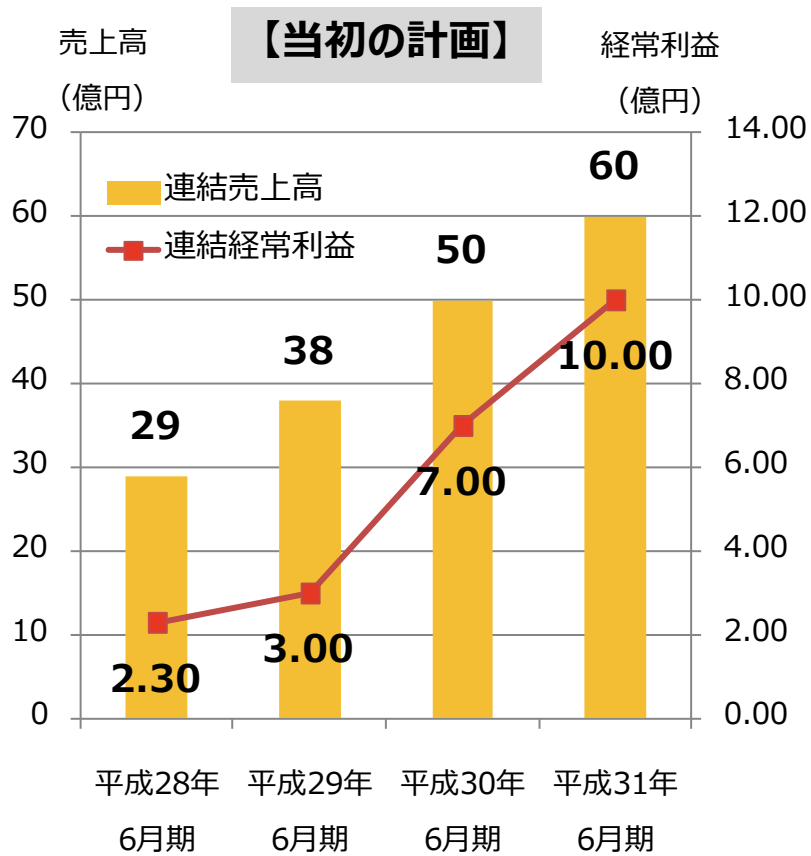
経営目標

連結売上高60億円・連結経常利益10億円の達成

(中期経営計画の最終年度 平成31年6月期)

中期経営計画 後半2年の見通し

最終年度における数値見通しを、連結売上高50億円、連結経常利益7億円とする。
そのうえで、連結経常利益10億円にいか近づけられるかをチャレンジする。



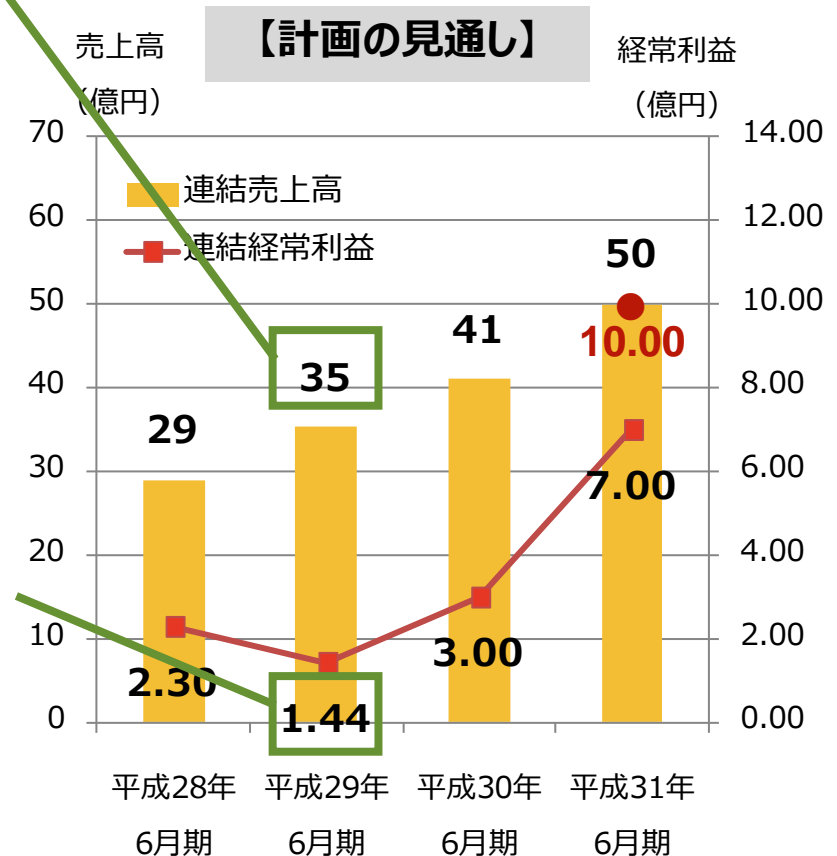
中期経営計画 前半2年間に於いて、当初想定と異なった点

中計2年目に、売上高を 当初計画38億円から、35億円に引き下げた主因

- 社員の増員ペースが、計画から7ヶ月遅れ
 - － 特に、営業・マーケティング系人材の採用が、中計2年目になってから進捗したため、売上高の拡大を担う人材の戦力化に遅れ。
- 売上高の増加ペースが、計画から7-9ヶ月遅れ
 - － 特に、各事業におけるストック型売上高の不足を、フロー型売上高で補ったため、中計後半2年のベースラインが下がっている。

中計2年目に、経常利益を 当初計画3億円から、1.44億円に引き下げた主因

上記売上高の減少により利益も減少するなかで、中計後半2年の成長を実現するために、人材投資を緩めなかったため。



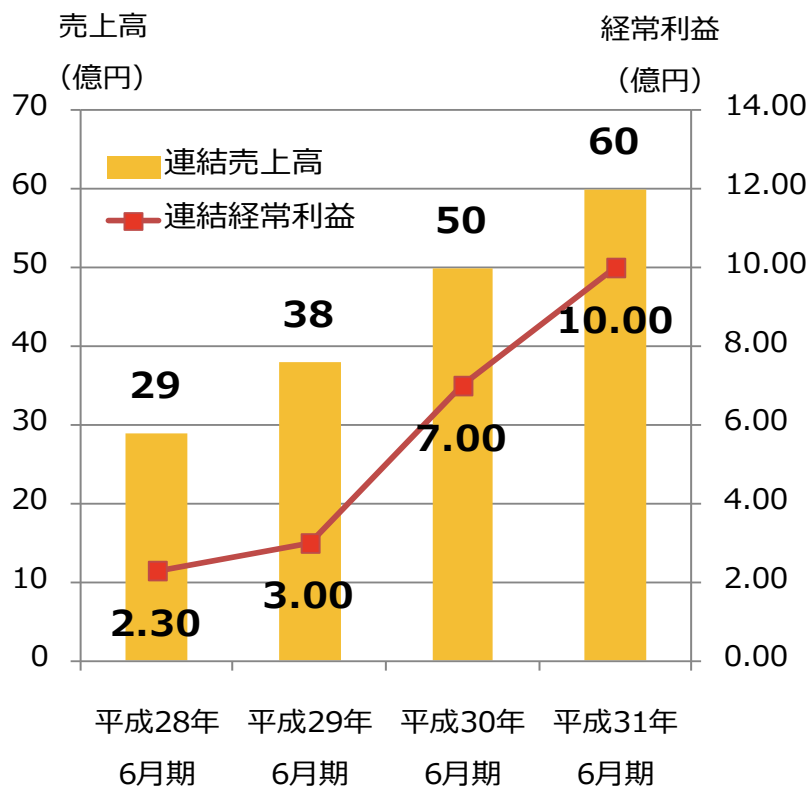
平成30年6月期も、人材投資を中心に投資フェーズが続く計画

当社ビジネスのさらなる拡大には、組織規模の拡大が前提となるため、人材投資を継続。

【当初の計画】

投資フェーズ

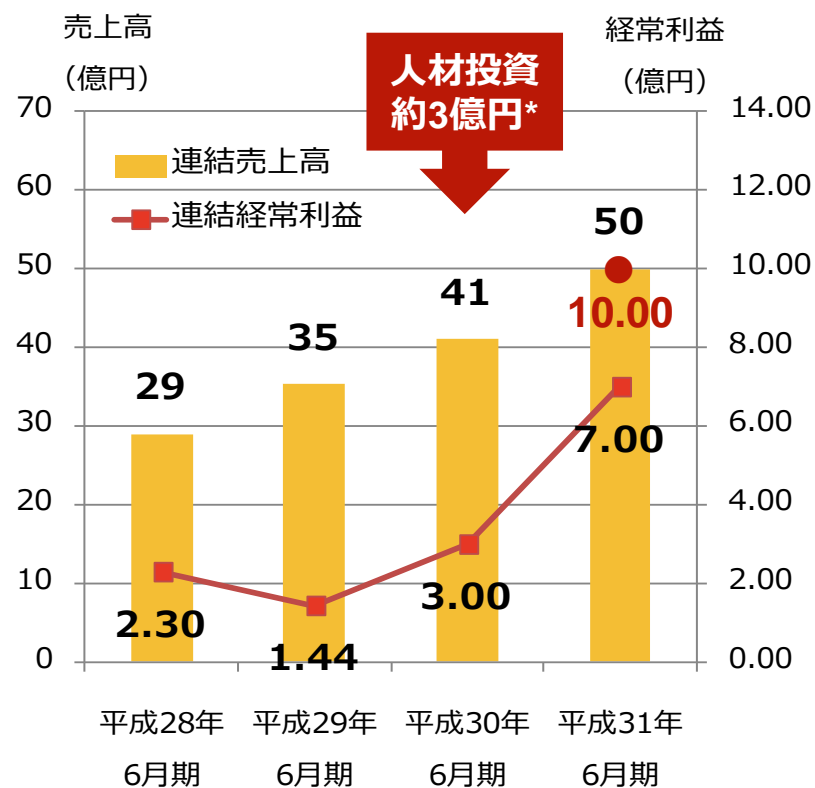
成長フェーズ



【計画の見通し】

投資フェーズ

成長フェーズ



* 組織拡大（人員増）のための中途・新卒採用による人件費増・人材採用費の合計

平成30年6月期の業績予想、採用計画

【連結業績予想】（ ）は前年比

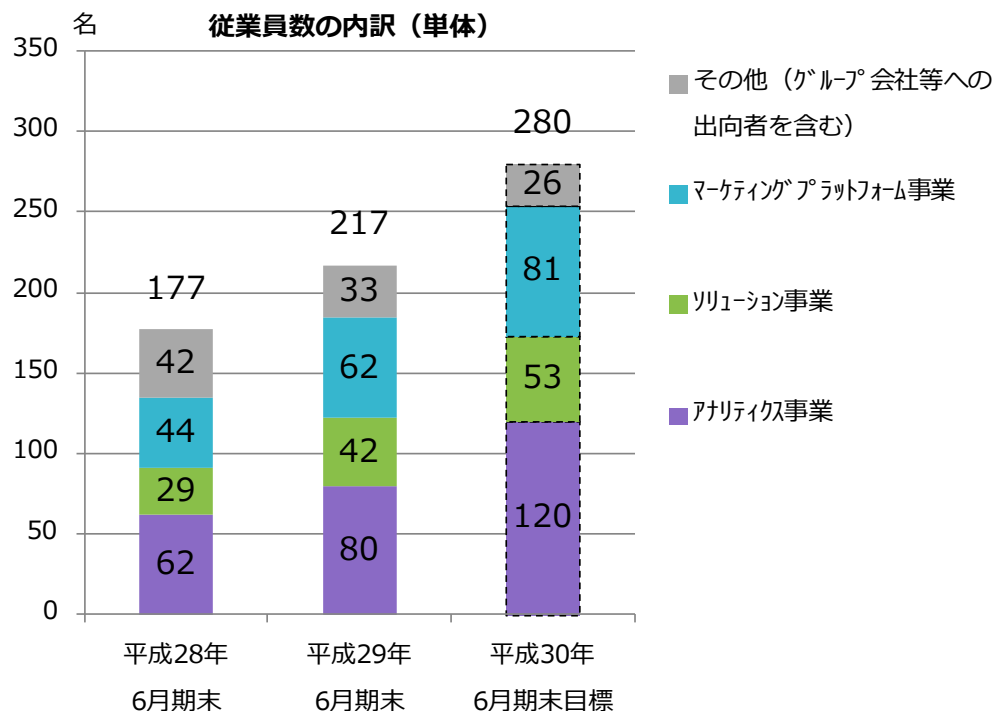
単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期累計	1,900 (+19.2%)	60 (+38.7%)	60 (+70.1%)	38 (▲9.9%)
通期	4,100 (+16.2%)	300 (+102.7%)	300 (+109.0%)	190 (+26.1%)

【採用計画】

中途・新卒合わせ、
当期末比+29.0%の増員を計画。

この増員による投資額は、約3億円。
(中途採用と新卒採用による
人件費増・人材採用費の合計)



平成30年6月期 人材投資に関する取り組み

中期経営計画の進捗および今後の事業拡大のキーとなる人材投資面の取り組みは次の通り。

これまでの人員増・戦力化の遅れの主因

- データサイエンティスト職でのブランディングに比べ、その他の職でのブランディング不足による、採用難易度の高い職種の発生（エンジニア職、営業職、コンサル職など）
※経験少 or 未経験者の採用となった例も少なくなく、戦力化の遅れも
- 業界全体の需要が高まっていることによる、他社からの引き抜き圧力の高止まり

現状

- 平成30年4月入社の新卒採用は順調に推移し、20名程度の入社を見込む
- 従業員の離職率は低下傾向にあるが、さらなる離職率低下に向けた取り組みが必要
- 昨年度からの採用遅れもある中、昨年度を超える中途採用数を計画

今期（平成30年6月期）の主な取り組み

- 平成31年度以降に向け、20名を超える新卒採用が可能となる体制の構築
- 採用難易度の高い職種の採用効率を高めるための、新たな採用チャネルの開拓
- 従業員の戦力化・定着化のための、社内制度や、研修・勉強会等の充実

平成30年6月期 期初の事業概況

- 市場環境は変わらず追い風。
- 中計の進捗の遅れは、社員の増員ペースおよび戦力化の遅れなどの内部要因が大きく、成長戦略（次頁）を見直さなければならない状況ではない。
- 引き続き、下記の2つの主力ビジネスを軸に、業績を拡大していく。

ブレインパッドの主力ビジネス（強み）

【強み】
業界随一のデータ
サイエンティスト組織

①

データ活用・分析ビジネス

【強み】
デジタルマーケティング市場
No.1製品を自社開発・提供

②

デジタルマーケティング
ライセンスビジネス

(再掲) 中期経営計画の実現に向けた5つのアクション

経営層を顧客とした案件拡大

- 分析や関連製品を使ったビジネスプロセスの改革・改善を提案
 - どのようにデータを取得し、どのような分析を行えばよいか
 - どのように製品を使いこなす業務を設計するか
- 人工知能・数理計画法・ビッグデータ分析・IoTのビジネス利用を促進

提案力の強化

- 事業横断で、サービス・製品をうまく組み合わせ、個別のクライアントごとに最適なソリューションを提案する力を強化

システム化、ストック収入拡大

- ワンタイムの受託分析に終わらせず、クライアント企業の業務に組み込まれるシステムを組み上げることで、データ分析の業務活用を活性化し、システム利用料収入を拡大
- 製品ライセンスフィー収入を拡大

提携・協業による 新サービス・商流の開発

- 豊富な顧客ネットワークを持つ製品ベンダー、顧客データ基盤を運用するSIer等との協働などにより、新サービスや新たな商流を開発
- ブレインパッドの持つビッグデータ分析・人工知能・数理計画法などの技術とのシナジーの大きな企業との協業を模索

教育投資の拡充

- コア・ケイパビリティに関する教育プログラムを開発し、人材への投資を拡充
 - 上記の実現に必要なスキルを開発

①データ活用・分析ビジネスの概況

- データ活用に対するニーズが拡大・多様化。
- AIブームにより、一段と需要強まる。
- データ活用人材の教育・育成の引き合いも増加。
- 組織の状態としては、人員拡大がそのまま収益拡大に繋がるような土台作りが完了。

この概況のセグメントへの影響度合い
・アリティクス事業・・・強い影響
・ソリューション事業・・・SIを中心に強い影響
・マーケティングプラットフォーム事業・・・弱い影響

【強み】
業界随一のデータ
サイエンティスト組織

①

データ活用・分析ビジネス

ブレインパッドの主力ビジネス



② デジタルマーケティング ライセンスビジネスの概況

- DMP*やMA**等のキーワードで、外資・内資問わずツール乱立。
- 先進企業に加えて、中堅・保守的な企業も導入対象へ拡大。
- 需要の裾野の広がりにより、提案・導入にはある程度の人的サポートが必要となっており、利益率向上には規模の拡大（売上増）が必要。

この概況のセグメントへの影響度合い
・アリティクス事業・・・弱い影響
・ソリューション事業・・・ライセンス販売に強い影響
・マーケティングプラットフォーム事業・・・強い影響



ブレインパッドの主力ビジネス

【強み】

デジタルマーケティング市場
No.1製品を自社開発・提供

②

デジタルマーケティング
ライセンスビジネス

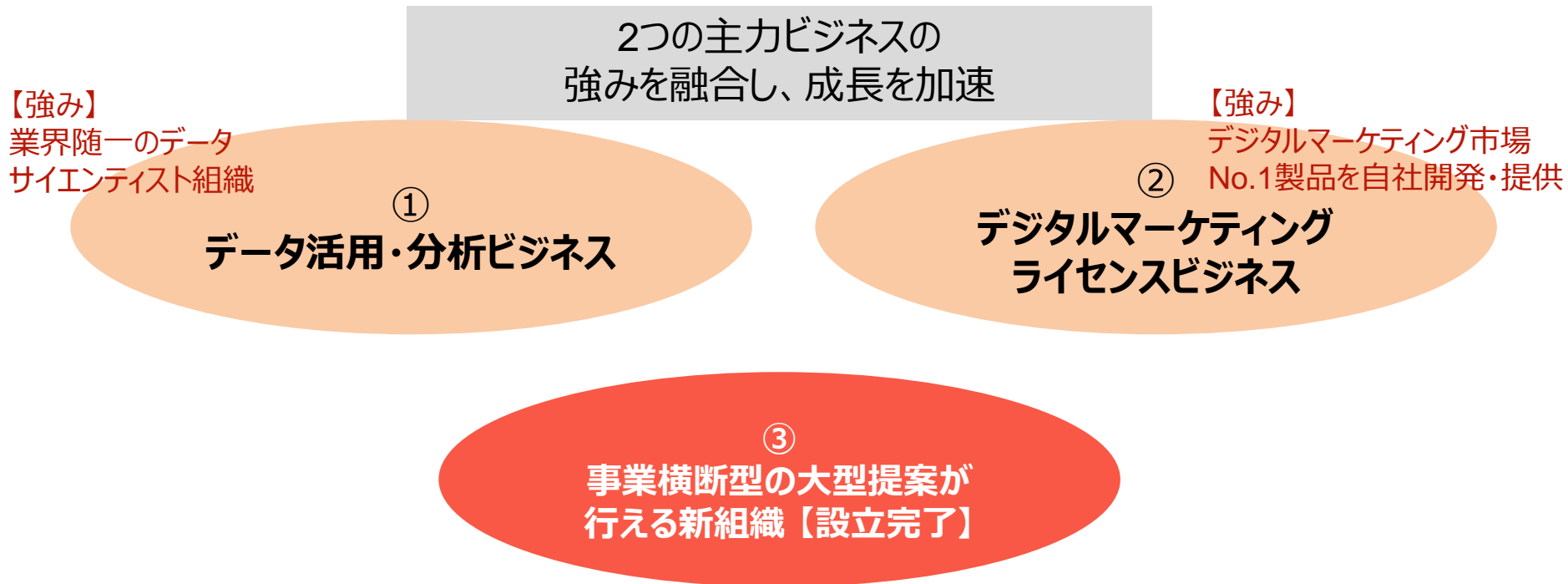


* DMP（Data Management Platform）とは、企業が様々なデータを集約し活用するために構築する基盤のこと。

** MA（Marketing Automation）とは、マーケティング活動の運用プロセスの自動化を支援するシステムの総称。

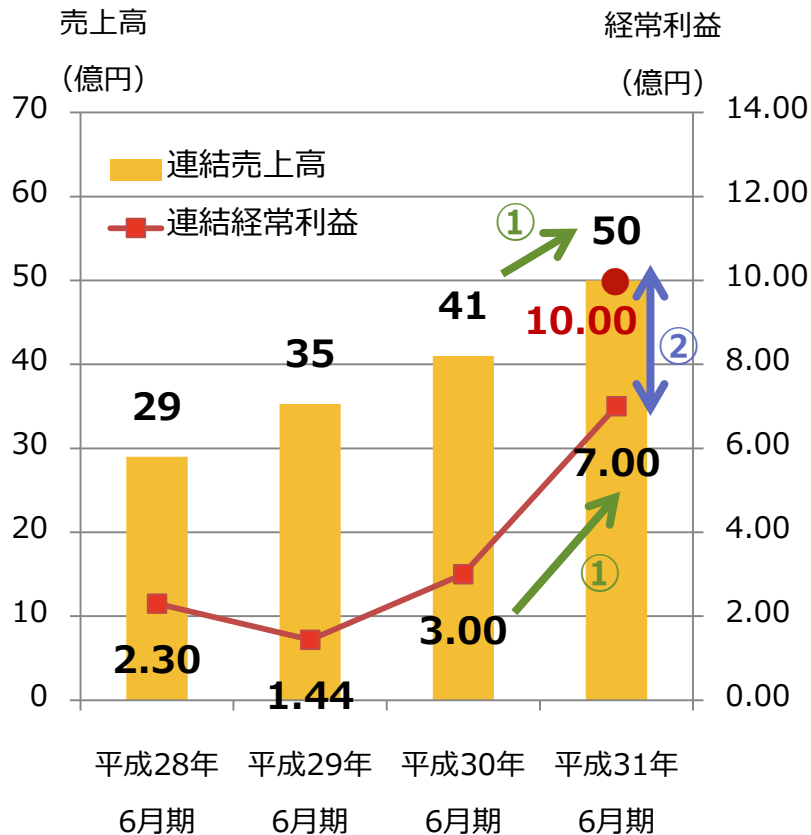
③ 主力ビジネスの強みを融合した総合提案

- 顧客企業の会社全体/事業全体に関わるようなデータ活用提案が求められるようになっている。
- 今後は、大手コンサルタント会社や大手SIerの提案領域と重なることも想定し、新組織の立ち上げを完了。
- 既に実績のある、システム構築を含む総合提案型の大型案件の獲得を目指していく。



最終年度の成長の実現に向けて

【計画の見通し】



① 売上高50億円、経常利益7億円に向けて

- 既存事業のオーガニック成長と、新組織による事業横断型大型案件の獲得に加え、AI関連ビジネスの収益貢献と、教育系ビジネスの本格化も寄与し、実現可能であるとの見通し

② 経常利益7億円を超え、10億円を目指すには・・・

- パートナー企業や業界ネットワークを活かした、共同事業・共同案件の創出など、既存事業の枠に留まらないレバレッジを利かせた新ビジネスの立ち上げにチャレンジ

中期経営計画の定量計画の要旨 ※赤字部分を更新

各事業の売上成長目標

- アナリティクス事業 年30%～40%成長
- ソリューション事業 年10%～20%成長
- マーケティングプラットフォーム事業 年20%～25%成長

最終年度の収益率

- 連結経常利益率 14%前後

最終年度の資本効率

- 連結ROE 20%程度

株主還元方針

- 当面は内部留保の充実を図り、既存事業の成長のために資本投下を行う予定であるため、上記利益目標が達成されるまでは、配当は未実施とする予定。

最終年度の人材イメージ

- | | |
|----------------|-----------|
| アナリティクス人材 | 110名～120名 |
| エンジニアリング人材 | 80名～ 90名 |
| セールス・コンサルタント人材 | 70名～ 80名 |
| コーポレートスタッフ | 25名～ 35名 |

計 285名～325名

APPENDIX

CORPORATE VISION

Analytics Innovation Company

アナリティクスとエンジニアリングを駆使した
革新的かつ実践的なソリューションで
最高の価値を提供する

ブレインパッドが生み出す価値

世の中では様々なキーワードが注目されていますが、これらは全て、
“データを価値に変えて企業活動に変化と改善をもたらすもの”です。

ビッグデータ Big Data	機械学習 Machine Learning	IoT/loE Internet of Things Internet of Everything	AI Artificial Intelligence 人工知能	予測・最適化
データサイエンティスト	深層学習 Deep Learning	データ分析 データ活用	フィンテック FinTech	マーケティング オートメーション MA (Marketing Automation)

- ブレインパッドは、2004年の創業以来、データによるビジネス創造と経営改善に向き合ってきたデータ活用のリーディングカンパニーです。
- アナリティクスとエンジニアリングを駆使し、データを価値に変えることで、企業のビジネス創造と経営改善をお手伝いしています。

最高の価値提供を可能にする3つの力

創業以来、データ活用を支援した企業は**500社以上**

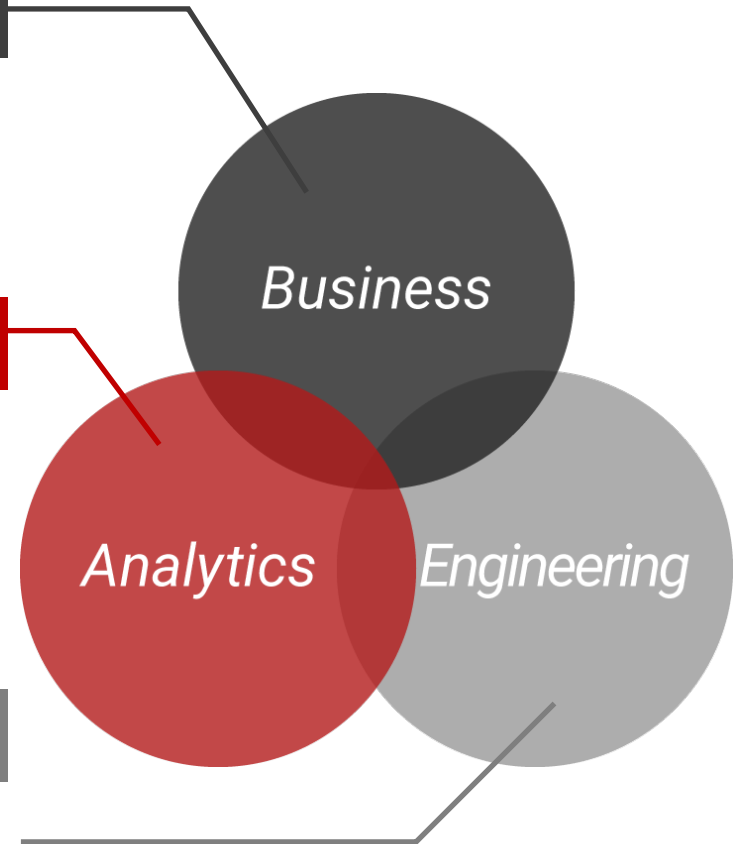
2004年の創業以来、ブレインパッドがデータ活用をお手伝いした企業は500社を超えます。幅広い業界を対象として、豊富に積み上げられたナレッジを武器に、お客様の経営課題を解決に導きます。

70名を超えるデータサイエンティストは国内随一

ブレインパッドは、70名を超えるデータサイエンティスト集団を有します。この規模は国内随一です。技術的な専門分野、得意とする顧客業界、豊富な分析経験など、様々な強みを持つデータサイエンティストがお客様のニーズに合わせてチームを組成し、最高レベルのアナリティクスサービスを提供します。

DMP領域 **No.1** プロダクトで培ったエンジニアリング力

上記の2つの力を、最先端のテクノロジーを用いて、システムやソフトウェアなどの“形”にできるのが、ブレインパッドが誇るエンジニア力です。その高い技術と先進性は、デジタルマーケティング領域でのNo.1プロダクト「Rtoaster」を生み出したことでも証明されています。



業界内での際立ったポジション

データを用いた、経営課題を解決するためのコンセプトデザインから運用まで、
一貫したサービスを提供できるという業界内でも際立った強みがあります。

ブレインパッドのサービス提供領域



課題の見える化
(アセスメント)と
コンセプトデザイン



トライアル分析による
プロジェクトの実現可能性や
投資対効果の検証



経営課題を解決する
分析アルゴリズムや
プラットフォームの開発



実際の業務プロセス
への適用と運用改善
による継続的な
ビジネス成果の創出

戦略的コンサルティング
ファーム

デジタルマーケティング特化や
分析特化の関連製品ベンダー

大手SIer (ただし、分析の専門人材はまだ不足していると認識)

総合系コンサルティングファーム
(ただし、専門性の高い分析部隊はまだ小規模であり、知見を蓄積中の段階であると認識)

関連
プレイヤーの
事業領域

ブレインパッドのサービス①：ビッグデータ活用サービス

ブレインパッドは、ビッグデータ活用を専門とする多数のプロフェッショナルの力を活かし、
以下のような課題を解決するサービスを提供しています。

データや事実に基づいて
マーケティングやCRMを
改善したい

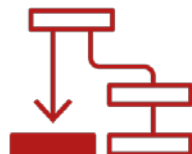
マーケティングのPDCA
サイクル全体の改善を支援



データによる顧客理解や顧客育成施策
の立案、施策の効果測定や最適化ま
で、PDCAサイクル全体を支援します。

機械学習やAIを用いて
業務改革や高度化を行いたい

アナリティクスを用いた
業務プロセスの最適化支援



最新技術を駆使し、営業、製造、サブ
ライチェーンマネジメント、新規事業など、
様々な業務プロセスの改革や効率化を
実現します。

ビッグデータ分析のための
プラットフォームを
構築したい

データ活用のための
インフラ構築全体を支援



ベンダーフリーで中立な立場を活かし、
データ活用計画の立案から、分析基盤
の構築、運用支援までを、トータルに支
援します。

データ活用人材を育てたい、
組織・体制を構築したい

人材育成、
専門組織や体制の構築を支援



自立的なデータ活用に向けたロードマ
ップを策定し、データ活用人材の育成や、
専門組織・体制の整備を支援します。

サービス提供にあたる
スペシャリスト



マーケティングアナリティクスの
専門家
• コンサルタント
• データサイエンティスト



最新の機械学習/深層学習、
IoT、AI技術を習得した専門家
• データサイエンティスト
• エンジニア



分析環境の構築や製品選定の
ノウハウを持つ専門家
• 製品コンサルタント
• システムエンジニア



「ブレインパッド教育講座」の運営
実績を持つ、データ活用人材育
成の専門家
• コンサルタント
• 講師

ブレインパッドのサービス②：デジタルマーケティングサービス

ブレインパッドは、DMP市場のNo.1製品「Rtoaster」を中心に、デジタルマーケティングを進化させる分析・システム構築・導入コンサルティングも提供しています。



高品質のサービス提供を可能とする製品群

レコメンドエンジン搭載
プライベートDMP



Rtoaster
多彩なマーケティングアクションをデータから実現できる、DMP市場のNo.1製品

運用型広告
最適化ツール



L2Mixer
最先端の予測モデルと最適化計算による自動入札で、シンプルな広告運用を支援

データマネジメントツール



DeltaCube
DMPに蓄積された膨大なデータから、セグメントを導き出せるツール

自然言語処理エンジン



Mynd plus
人工知能・機械学習・統計学技術を駆使してテキストデータを解析

マーケティングオートメーション
プラットフォーム


















Probanance
機械学習により顧客ニーズを予測し、パーソナライズコミュニケーションを実現するMAプラットフォーム

ソーシャルリスニング・
プラットフォーム



Crimson Hexagon ForSight™ Platform
ソーシャルメディアから、世界中の顧客エンゲージメントを分析

データ活用のプロフェッショナルが提供する製品群

マーケティング	レコメンドエンジン搭載 プライベートDMP  Rtoaster 多彩なマーケティングアクションをデータから実現できる、DMP市場のNo.1製品	運用型広告 最適化ツール  L2Mixer 最先端の予測モデルと最適化計算による自動入札で、シンプルな広告運用を支援	データマネジメントツール  DeltaCube DMPに蓄積された膨大なデータから、セグメントを導き出せるツール	自然言語処理エンジン  Mynd plus 人工知能・機械学習・統計学技術を駆使してテキストデータを解析	マーケティングオートメーション プラットフォーム  Probance 機械学習により顧客ニーズを予測し、パーソナライズコミュニケーションを実現するMAプラットフォーム	ソーシャルリスニング・ プラットフォーム  ForSight Crimson Hexagon ForSight™ Platform ソーシャルメディアから、世界中の顧客エンゲージメントを分析
	ダイナミックセグメンテーション システム  exQuick データやファイルを統合的に管理し、データ抽出やレポートングを得意とするシステム	ビジネス・インテリジェンス ツール  Tableau データをビジュアル化し、データの持つメッセージを伝えることが可能	データマイニング 機械学習	ビッグデータ対応 機械 学習・予測分析システム  SAP® BusinessObjects™ Predictive Analytics データマイニング・機械学習のプロセスを自動化し、圧倒的な効率性を実現	統計解析・ビッグデータ 加工システム  WPS Software SAS言語で記述されたプログラム実行とデータ操作が可能	最適化エンジン  UltiPad 予測モデルの構築後に、膨大な組み合わせの中から最適解を導くことが可能
	クラウドプラットフォーム Microsoft Azure Microsoft Azure ビッグデータ活用に必要な一連の機能をクラウド上で提供	データ分析処理基盤  MapR 大規模データを、コスト効率よく高速処理できるHadoop製品		インメモリ コンピューティング  SAP HANA® 大量のデータを高速分析するために開発されたインメモリコンピューティング	ビッグデータ・ウェアハウス  SAP® IQ 分析・検索用途に特化して開発されたデータベースソフトウェア	
	分析基盤	その他 アプリケーション  ブレインロボ 人が行う業務を自動化・効率化するロボティック・プロセス・オートメーション				

■ 自社開発製品 ■ 当社が国内唯一の販売代理店である製品 ■ その他

連結子会社 Mynd株式会社

ニュースアプリ「Mynd (マインド)」を開発・提供しているテクノロジー企業。

機械学習技術や統計分析を応用した機械学習推薦エンジン「Mynd Engine」が、「Mynd plus」として進化。

Mynd



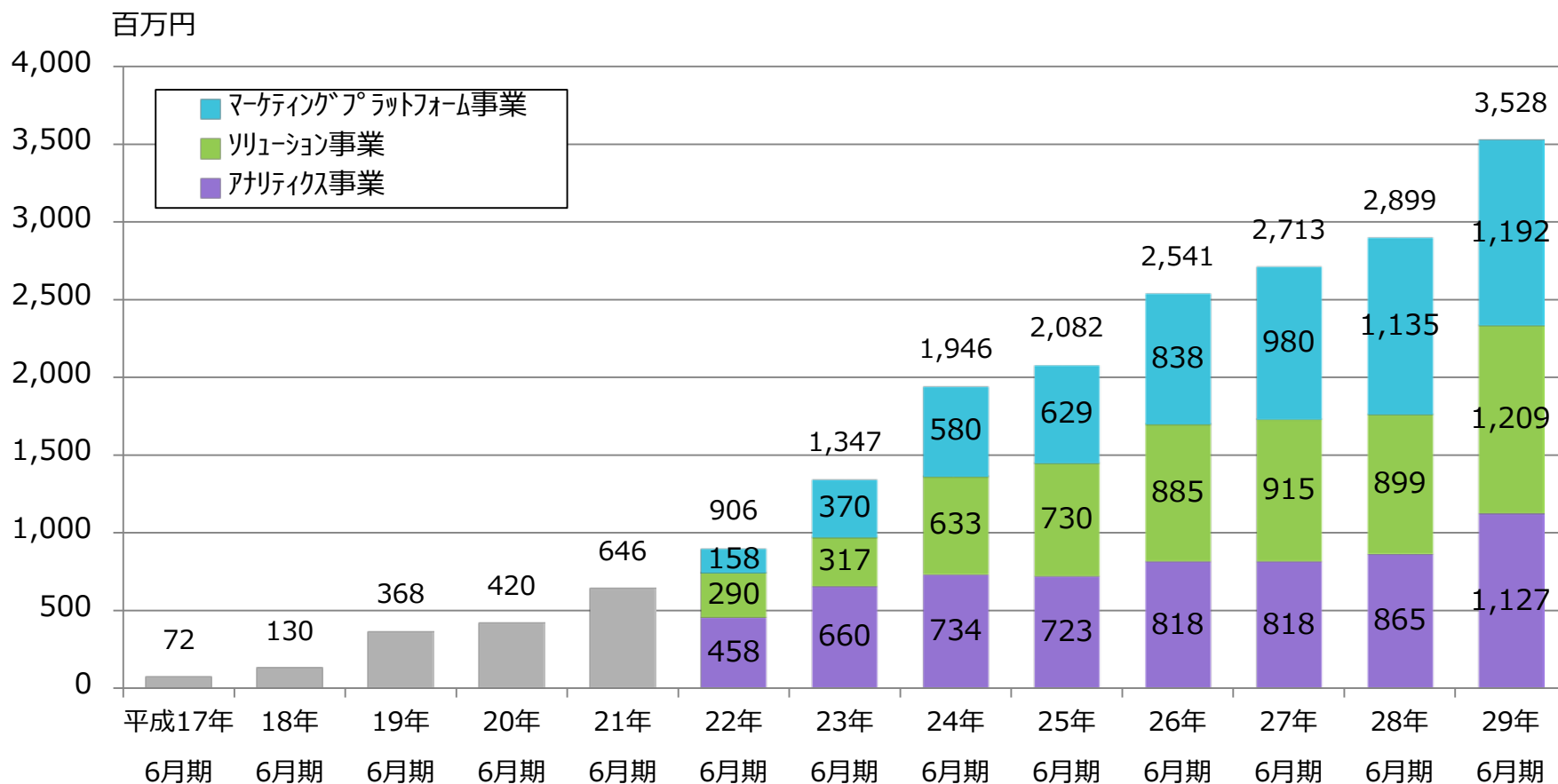
機械学習・統計分析を応用
ユーザの好みを学習してパーソナライズ



↑
自動収集した膨大な記事を
数十個のまとめり（トピック）
に自動分類するとともに、
ユーザの行動から好みを学習し、
個々人にあった記事だけを配信
するアプリ。

←
Apple Watch、Android Wear
搭載のスマートウォッチにも対応。

当社グループ創業からの歩み

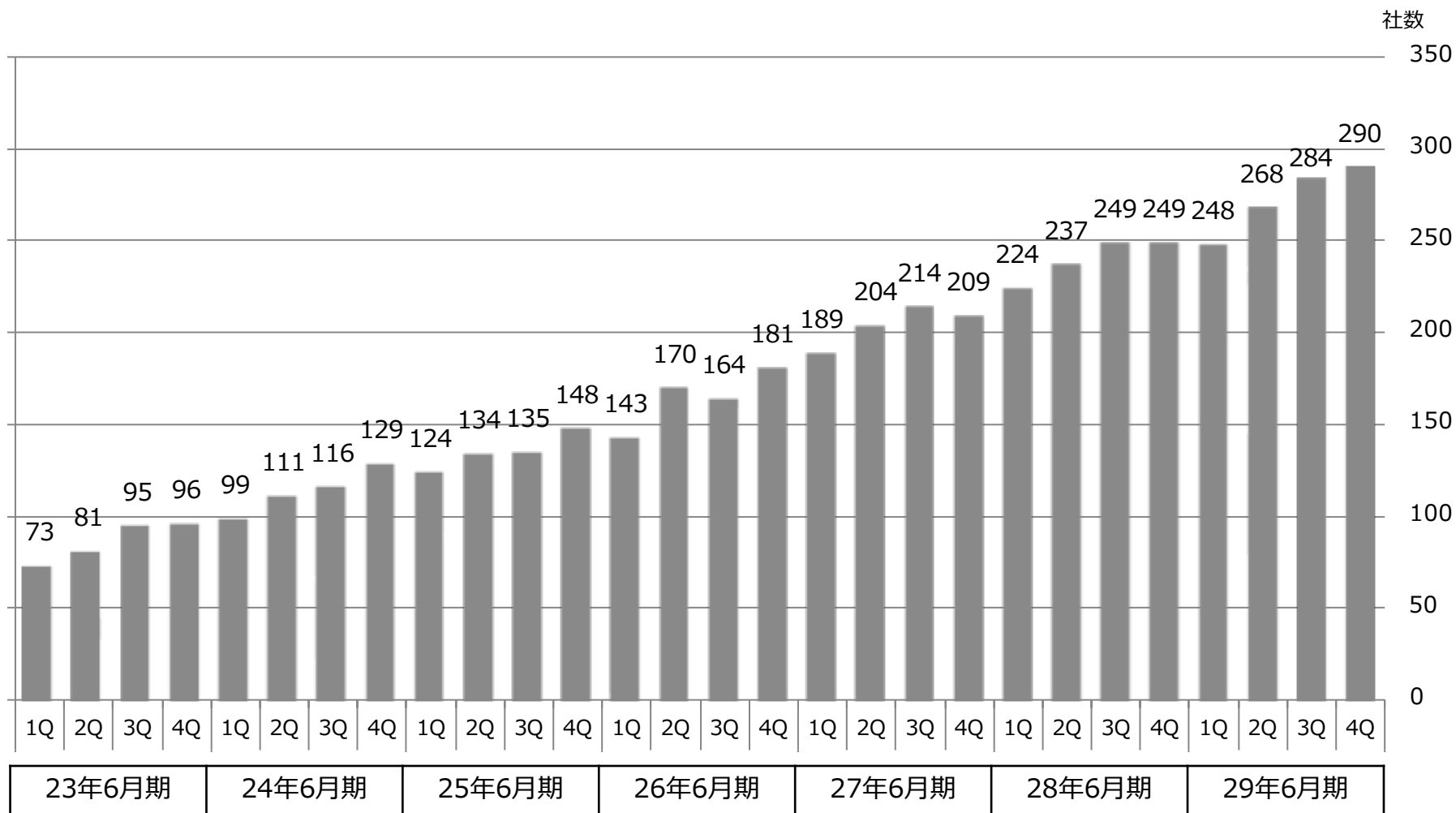


連結売上高の推移

平成21年以前のセグメント別の売上高は未公表です。
また、平成23年6月期 2Q以前の数値は未監査であるため、当該期の数値は参考資料となります。

取引社数の推移（単体）

（※）当該四半期のうちに売上が計上された顧客数をカウントしています。





株式会社ブレインパッド

〒108-0071 東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル

TEL : 03-6721-7701 (IR直通) FAX : 03-6721-7010

www.brainpad.co.jp ir@brainpad.co.jp

本資料に記載されている戦略や計画、見通しなどは、過去の事実を除いて予測であり、現時点において入手可能な情報に依拠し判断された一定の前提条件に基づいております。従って、実際の業績等は今後の様々な要因によって、これら見通しとは乖離する場合があります。ご承知おきください。また、グラフ内の数値は端数処理により総和が短信等で開示している合計額と一致しない場合があります。

本資料における情報は、本資料が作成された時点のものです。将来発生する事象などにより内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。また、本資料に記載された会社名・商品名・ロゴは、それぞれ各社の商標または登録商標です。